

# 第13回 日本公衆衛生看護学会学術集会

## ポケットプログラム

多様な  
パートナーとともに  
未来を創る 公衆衛生看護

2025年1月4日(土) ~ 1月5日(日)

オンデマンド配信 ~ 2月9日(日)

ウイングあいち (愛知県産業労働センター)

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目 4-38

学術集会会長

坂本 真理子 (愛知医科大学看護学部 教授)

学術集会副会長

岡本 理恵 (名古屋市 / 全国保健師長会)



学術集会ホームページ

<https://japhn13.yupia.net/>

学術集会事務局  
愛知医科大学

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

運営事務局  
株式会社ユピア

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町 3-21

E-mail : [japhn13@yupia.net](mailto:japhn13@yupia.net)

後援

厚生労働省 文部科学省 愛知県 名古屋市 愛知県市長会 愛知県町村会 公益社団法人日本看護協会 公益社団法人愛知県看護協会  
一般財団法人日本公衆衛生協会 全国保健所長会 全国保健師長会 全国保健師長会愛知県支部 一般社団法人全国保健師教育機関協議会  
一般社団法人日本産業保健師会 愛知県保健師会 愛知県市町村保健師協議会 公益社団法人愛知県医師会 一般社団法人愛知県歯科医師会  
一般社団法人愛知県薬剤師会 一般社団法人名古屋市医師会 一般社団法人名古屋市歯科医師会 一般社団法人名古屋市薬剤師会 愛知医科大学

(順不同)

メナードが大切にしたい「まごころ」とは、  
人に親切であることを心がけお客様の美しさのために  
何ができるかを真剣に考え実践すること。

まごころをこめた「美」の提案

私たちはそれを「美しさにまごころこめて」と呼んでいます。

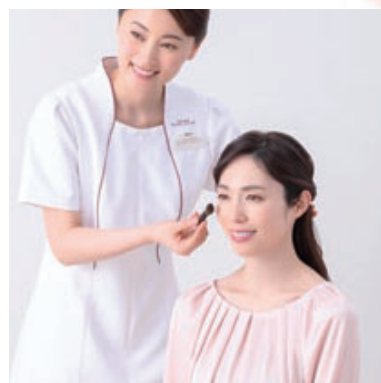
催事にメナードブースを活用しませんか？  
来場者の満足度を高めるお手伝いをさせていただきます



ビューティハンドケア



美肌アドバイス AI



メイクサービス

【協賛実績】 ブース出展による健康診断ご予約促進 医療関係者主催イベントでのブース出展 等



協賛を検討される方は  
2次元コードからお問合せ下さい。  
日本メナード化粧品ホームページ  
イベント支援サービス



**MENARD**  
JAPAN, SINCE 1959

日本メナード化粧品株式会社 中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-18-15  
電話 052-971-2292 担当 佐々木 (9:00 ~ 17:00 日曜・祝日は除く)

## ご挨拶

このたび、第13回日本公衆衛生看護学会学術集会を愛知県で開催させていただくこととなりました。

私たちは、これまで相次ぐ自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応を始めとする未曾有の健康危機を経験し、苦難に立ち向かい続けてきました。その月日は、過重な業務負担、本来の公衆衛生看護活動に思う存分取り組めないジレンマ、既存のシステムでは対応しきれない多くの課題の存在等、ともすれば厳しい現実疲労困憊する日々でした。一方で、地域住民の力や多様な支援者による目覚ましい活躍に、人々の健康はみんなで支え合い創っていくことを実感する機会であったと思います。

本学術集会のテーマは「多様なパートナーとともに未来を創る公衆衛生看護」といたしました。公衆衛生看護には自らの専門性を発揮しつつ、地域住民や当事者、多様なパートナーたちとともに、新しい未来を創っていく使命があります。本学術集会では、これからも私たちが多様な健康課題にしなやかに立ち向かい、希望する未来を創るため、多様なパートナーたちとつながり、知恵を出し合う機会としたいと考えています。多様性と協働を通じて、改めて、公衆衛生看護の面白さや更なる可能性を発見することにもつながる学術集会プログラムを準備しております。

第12回学術集会で大変好評でした住民サミットは、本学術集会でも引き続き開催いたします。本学術集会でも、地域住民のパワーを再認識する機会となることでしょう。

本学術集会の開催にあたり、後援、協賛、ご寄付・助成をいただきました団体・企業の皆様に深く感謝申し上げます。

本学術集会の日程はお正月休み期間内での開催となりますが、参加者の皆様一人ひとりが日々の活動や教育・研究に生き生きと取り組めるエネルギーを蓄える年の始まりとなりますよう、愛知県の公衆衛生看護チームが企画委員として持てる力を尽くして準備を進めてまいりました。当日は、多くの実行委員とボランティアとで皆様をお迎えいたします。

多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

### 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会

学術集会会長 坂本真理子（愛知医科大学看護学部）

学術集会副会長 岡本理恵（名古屋市/全国保健師長会）

企画委員、実行委員、事務局一同

## 参加案内

### ハイブリッド開催についてのご案内

当学術集会は、現地会場およびWeb上にて開催するハイブリッド形式です。  
プログラムと日程により、開催方法が異なります。以下ご参照ください。

#### 【現地開催日(ライブ配信日)】

プログラム	現地会場	Web・オンライン開催ページ
メインプログラム	各プログラムを実施します	第1会場のみ Zoomでライブ配信します
一般演題(示説)	ポスター掲示・発表を実施します	PDFをオンデマンド配信します
一般演題(口演)	現地発表はありません	動画をオンデマンド配信します
ワークショップ	ワークショップを開催します	世話人の希望によりZoom等で ライブ配信をするものがあります

#### 【1月6日(月)～ 2月9日(日) オンデマンド配信期間】

プログラム	オンライン開催ページ
メインプログラム	準備が整い次第、記録動画をオンデマンド配信します (ランチョンセミナー、市民公開講座(住民サミット)を除く)
一般演題(示説)	PDFをオンデマンド配信します
一般演題(口演)	動画をオンデマンド配信します
ワークショップ	世話人の希望により、1つのワークショップにつき動画1件を オンデマンド配信します(配信しないワークショップもあります)

※ オンデマンド配信とは

開催期間内はいつでも好きな時にご覧いただける配信方式です。

※ ライブ配信とは

定められた日時に配信する方式で、リアルタイムでのやり取りが可能です。



## 現地会場参加・オンライン参加 共通事項

### 1. 講演集

講演集はPDF発行です。印刷冊子の配布はありません。

オンライン開催ページにログインして、ダウンロードしてください。

ログイン方法等については「オンラインでのご参加について」の項をご参照ください。

講演集の印刷冊子は、別途ご購入いただけます(送料・手数料込、10%税込 2,500円)。学術集会サイトの「参加登録」ページ内、「抄録集印刷冊子購入・送付申込」のボタンからお申し込みください。

※現地会場では 1部 2,000円にて印刷冊子を販売します。

事前申込は不要ですが印刷部数が限られますので、売り切れの際は後日送付となります。

### 2. 名札・参加証

名札・参加証はPDF発行です。

参加登録時のConfitマイページにログインして、参加登録情報の下の「参加証ダウンロード」のボタンからダウンロードしてください。なお、名札と参加証はA4サイズに一緒に面付されています。その他の形式で参加証発行をご希望の方は、運営事務局までご相談ください。

マイページログイン <https://japhn.confite.atlas.jp/login>



### 3. 撮影・記録の禁止（権利侵害についてのご注意）

発表については、発表者に著作権や肖像権等の権利があります。発表者に許可なく撮影や録音をしたり、画面のスクリーンショットを撮ったりすることは権利侵害にあたりますのですべて禁止いたします。十分にご留意ください。

なお、配布資料がある場合はダウンロードが可能です。ダウンロードした資料の内容を引用・参照する場合は必ず引用・参照元を明記してください。

	2階	5階		8階
	第1会場 大ホール	第2会場 小ホール1	第3会場 小ホール2	第4会場 展示場
9:00				
10:00	10:00~10:30 <b>開会式</b>			9:30~12:15  <b>1日目 ポスター掲示</b>
11:00	10:35~11:05 <b>会長講演</b> 多様なパートナーとともに未来を創る 公衆衛生看護	10:35~11:05 <b>会長講演</b> サテライト		
12:00	11:10~12:00 <b>基調講演</b> 多様な分野とのパートナーシップは 公衆衛生をどう変えていくか	11:10~12:00 <b>基調講演</b> サテライト		
13:00	13:00~13:50 <b>特別講演</b> Health & Happiness を追求する Well-being への新アプローチ		12:40~14:00 <b>ワークショップ 3-1</b> 感染症を中心とした健康危機への備え ～市町村と保健所が一緒に取組む 保健師の健康危機管理 保健活動と人材育成～ 【災害・健康危機管理委員会】	
14:00	14:05~15:15 <b>シンポジウム A</b> 健康格差にどう向き合うか！ ～未来を創る社会環境づくり～	14:00~15:00 <b>公衆衛生看護セミナー-A</b> 役割を超えて自分らしく 生きることを考えてみよう！	14:20~15:40 <b>ワークショップ 3-2</b> 災害時、すぐに動ける保健師に なるために！経験からの継承 —全国保健師長会 災害時保健活動特別委員会	12:30~ <b>一般演題 示説 a</b> 第01群 親子保健・福祉1 第05群 人材育成・キャリア支援2 第09群 健康づくり・健康増進活動1 第13群 人材育成・キャリア支援3 第17群 精神保健・福祉2
15:00	15:30~17:00 <b>シンポジウム B</b> しなやかにつながる 地域職域連携	15:10~16:10 <b>公衆衛生看護セミナー-B</b> 未来を“つむぐ”人づくり ～要となる中堅期保健師の存在～		13:40~ <b>一般演題 示説 b</b> 第03群 障がいをもつ人(子ども)の保健・福祉 第07群 地区組織活動・グループ支援 第11群 親子保健・福祉3 第15群 人材育成・キャリア支援5 第19群 健康づくり・健康増進活動2
16:00	17:10~17:40 <b>会員集会</b>	16:20~17:00 <b>特別企画</b> 性的少数者LGBTQも利用しやすい 保健サービスとは		14:50~ <b>一般演題 示説 c</b> 第04群 人材育成・キャリア支援1 第08群 感染症保健・福祉1 第12群 親子保健・福祉4 第16群 家族支援 第20群 地域づくり・ソーシャルキャピタル2
17:00	17:40~18:00 <b>表彰式</b>			16:00~ <b>一般演題 示説 d</b> 第02群 親子保健・福祉2 第06群 精神保健・福祉1 第10群 地域づくり・ソーシャルキャピタル1 第14群 人材育成・キャリア支援4 第18群 災害支援・減災/防災1
18:00				17:00~17:30 <b>ポスター撤去</b>
19:00			18:30~20:30 <b>懇親会</b>	17:30~18:20 <b>2日目 ポスター掲示</b>

11階

	第5会場 1101	第6会場 1102	第7会場 1103	第8会場 1104	第9会場 1107	第10会場 1108
9:00						
10:00						
11:00						
12:00						
13:00						
14:00	<p>13:40~15:00 ▶</p> <p><b>ワークショップ 5-1</b></p> <p>公衆衛生看護の未来を拓く： 会員アンケート調査結果に基づく実践的広報活動の構築 【広報委員会】</p>	<p>13:50~15:10</p> <p><b>ワークショップ 6-1</b></p> <p>児童虐待対策に携わる多職種間での保健師の役割 ~多職種で構成される要保護児童対策地域協議会から~</p>	<p>14:00~15:20</p> <p><b>ワークショップ 7-1</b></p> <p>統括保健師に求められる専門的・行政的管理能力の教育プログラムの検討</p>	<p>13:40~15:00</p> <p><b>ワークショップ 8-1</b></p> <p>「水俣病に学ぶ公衆衛生看護の役割と責任」第2回</p>	<p>13:50~15:10</p> <p><b>ワークショップ 9-1</b></p> <p>アディクションがある生活困窮者・生活保護受給者の健康と生活一障害がありながら地域で生活する人々の支援を通して~</p>	<p>14:00~15:20 ▶</p> <p><b>ワークショップ 10-1</b></p> <p>保健活動のモヤモヤと向き合う ~ネガティブ・ケイパビリティとエフェクチュエーションでVUCA時代を生き抜く力を身につけよう~</p>
15:00	<p>15:20~16:40 ▶</p> <p><b>ワークショップ 5-2</b></p> <p>公衆衛生看護におけるエビデンスに基づく事業化/施策化実践モデルの開発と普及</p>	<p>15:30~16:50 ▶</p> <p><b>ワークショップ 6-2</b></p> <p>動き出した「こども家庭センター」における母子保健と児童福祉の一体的支援を考える</p>	<p>15:40~17:00</p> <p><b>ワークショップ 7-2</b></p> <p>拡げよう！協働の可能性 ~知っていますか？多職種の取り組み~</p>	<p>15:20~16:40</p> <p><b>ワークショップ 8-2</b></p> <p>市町村における「保健事業評価」を紐解く</p>	<p>15:30~16:50</p> <p><b>ワークショップ 9-2</b></p> <p>不衛生な環境(いわゆる、ごみ屋敷)で生活するセルフ・ネグレクトの人への支援 -生命のリスクが高いセルフ・ネグレクトの人への保健師の支援に焦点をあてて-</p>	<p>15:40~17:00 ▶</p> <p><b>ワークショップ 10-2</b></p> <p>院生倶楽部 ~保健師を目指す大学院生の交流を深めよう!~</p>
16:00						
17:00						
18:00	<p>▶ <b>ハイブリッド型ワークショップ</b></p> <p>現地会場で開催している様子を、Zoom等で世話人自身がライブ配信します。</p>					
19:00						

	2階	5階		8階
	第1会場 大ホール	第2会場 小ホール1	第3会場 小ホール2	第4会場 展示場
8:30				8:30~9:15 ポスター掲示
9:00	9:00~10:30 <b>シンポジウムC</b> 大規模災害時に 多様なパートナーで協働する ~当事者を中心に避難生活を いかに支えるか~	9:00~10:20 <b>シンポジウムF</b> 健康格差にどう向き合うかII ~誰も取り残さない 支援をめざして~	9:10~10:10 <b>公衆衛生看護セミナーD</b> 医療現場における性感染症のリアル ~公衆衛生看護の活動現場でプレコンセプション ケアの視点から性感染症をどう伝えるか!~	9:30~ <b>一般演題 示説</b> e 第21群 親子保健・福祉5 第25群 成人保健・福祉1 第29群 高齢者保健・福祉2 第33群 人材育成・キャリア支援8 第37群 精神保健・福祉3
10:00				
11:00	10:50~12:20 <b>シンポジウムD</b> 災害発生時に迅速に 対応するための仕掛けづくり ~組織縦断・横断的な 働きかけと人材育成~	10:40~12:10 <b>シンポジウムG</b> 誰一人取り残さない親子支援 ~出生直後から始まる 医療的ケア児支援~	10:40~11:40 <b>公衆衛生看護セミナーE</b> 明日から使える「やさしい日本語」講座 ~外国人の健康相談に活用するために~	10:50~ <b>一般演題 示説</b> f 第23群 人材育成・キャリア支援6 第27群 高齢者保健・福祉1 第31群 公衆衛生看護管理 第35群 成人保健・福祉2 第39群 高齢者保健・福祉3
12:00				
13:00		12:30~13:20 <b>ランチョンセミナー1</b> 共催：一般社団法人 日本セルフケア推進協議会	12:20~13:10 <b>ランチョンセミナー2</b> 共催：大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部	
14:00	13:20~14:40 <b>公衆衛生看護セミナーC</b> 親子支援の政策の変化と 公衆衛生看護の役割	13:30~15:00 <b>シンポジウムH</b> “にも包括”の構築推進と 地域保健への期待 ~精神保健と精神福祉の違いを 理解し、協働するために~	13:30~15:30 <b>市民公開講座</b> <b>住民サミット(交流会)</b> in 愛知	13:30~ <b>一般演題 示説</b> g 第24群 人材育成・キャリア支援7 第28群 国際保健 第32群 災害支援・減災/防災2 第36群 健康づくり・健康増進活動3 第40群 感染症保健・福祉3
15:00	15:00~16:20 <b>シンポジウムE</b> 若者の生きづらさに伴走する 保健師活動の可能性	15:10~16:20 <b>パネルディスカッション</b> 未来を“つむぐ”人づくり ~プラチナ保健師と進める 公衆衛生看護活動~		14:40~ <b>一般演題 示説</b> h 第22群 親子保健・福祉6 第26群 産業保健 第30群 感染症保健・福祉2 第34群 災害支援・減災/防災3 第38群 地域づくり・ソーシャルキャピタル3
16:00				15:40~16:10 ポスター撤去
17:00	16:30~17:00 <b>閉会式</b>			
18:00				



11階

	第5会場 1101	第6会場 1102	第7会場 1103	第8会場 1104	第9会場 1107	第10会場 1108
8:30						
9:00	9:00~10:20 <b>ワークショップ 5-3</b> 倫理的課題を含む事例への看護展開 ~特定妊婦の支援に焦点をあてて~	9:10~10:30 ▶ <b>ワークショップ 6-3</b> 公衆衛生看護活動の強力なパートナーとしての「映画」たち	9:20~10:40 <b>ワークショップ 7-3</b> デジタルネイティブ世代の子育てと保健指導を考える ~公衆衛生看護の視点から見るスマホの影響~	9:00~10:20 <b>ワークショップ 8-3</b> 未来を“つむぐ”人づくり -要となる中堅期保健師の研修会の取り組みを語り合おう-	9:10~10:30 <b>ワークショップ 9-3</b> 個別課題から地域課題を思考する ~地域課題発見型カンファレンスを通して~	9:20~10:40 ▶ <b>ワークショップ 10-3</b> 大学院を修了した保健師の本音トーク ~保健師を取り巻く修士課程と修了後の保健師のキャリア形成のリアル~
10:00						
11:00	10:40~12:00 ▶ <b>ワークショップ 5-4</b> 公衆衛生看護の認定専門家 ~なろう! 語ろう! 繋がる!~ 【認証制度委員会】	10:50~12:10 ▶ <b>ワークショップ 6-4</b> 集まろう、つながろう、話そう 今日から活かせる教育実践のあれこれ ~学生とともに育ちあう教育~	11:00~12:20 <b>ワークショップ 7-4</b> 多様な背景を持つ新任期保健師の人材育成について語ろう、分かり合おう、育ち合おう!	10:40~12:00 <b>ワークショップ 8-4</b> 多様なキャリアを有する新任期保健師への教育方法 -コミュニケーション力の底上げを目指して- 【教育委員会】	10:50~12:10 <b>ワークショップ 9-4</b> VUCA時代の公衆衛生看護 -対話からはじまる地域づくり-	11:00~12:20 ▶ <b>ワークショップ 10-4</b> 若葉保健師からのメッセージ ~語る門に“縁”来る in 愛知~
12:00	12:10~13:10 <b>拡大編集委員会</b>					
13:00						
14:00	13:25~14:45 <b>ワークショップ 5-5</b> 実践モデルを使って保健師活動を見る・魅せる	13:20~14:40 ▶ <b>ワークショップ 6-5</b> 全ての経験を活かしたキャリア発達 -2040、その先も見据えて	13:15~14:35 <b>ワークショップ 7-5</b> 時代が求める!保健師記録の仕組みづくり! ~保健師記録の改善を模索する自治体の取り組み~	13:25~14:45 <b>ワークショップ 8-5</b> 統括保健師等の役割発揮を促すネットワークづくり	13:15~14:35 <b>ワークショップ 9-5</b> 保健師としての自分らしい働き方 ~まず一歩踏み出して見つけた、兼業での新しいキャリア~	13:20~14:40 <b>ワークショップ 10-5</b> 初めての研究倫理審査、来年は発表してみよう! 【倫理委員会】
15:00	15:00~16:20 ▶ <b>ワークショップ 5-6</b> 妊産婦に対する家庭訪問に関するガイドラインの作成経過の報告 【実践ガイドライン委員会】	14:55~16:15 <b>ワークショップ 6-6</b> 変わりゆく保健師の役割と変わらないコアについて考える ~『多職種』『連携』をキーワードに~	14:50~16:10 <b>ワークショップ 7-6</b> 統括保健師によるICTを活用した根拠に基づく人材育成とマネジメントの実際	15:00~16:20 <b>ワークショップ 8-6</b> -2kg、-2cmが達成できる特定保健指導について語りあおう! : アウトカム評価の導入1年目の振り返りと今後に向けて	14:50~16:10 <b>ワークショップ 9-6</b> つながろう! 地域包括支援センター保健師 -地域ぐるみの自立支援の推進に向けて-	14:55~16:15 <b>ワークショップ 10-6</b> グラフィックレコーディングを活用した事例検討会「グラレコ事例検討会」体験会 ~事例の見える化から生まれる安心の議論の場を体感しよう~
16:00						
17:00	▶ <b>ハイブリッド型ワークショップ</b> 現地会場で開催している様子を、Zoom等で世話人自身がライブ配信します。					
18:00						

## 現地会場へのご参加について

### 1. 会場へのアクセスと会場配置図

ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

<https://www.winc-aichi.jp/access/>



### 会場周辺地図 最寄駅:名古屋駅 (JR・名鉄・近鉄・地下鉄)

図は会場ホームページより



・JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

・ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

※ ウインクあいちは名古屋駅と地下でつながっています。名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由し徒歩8分です。

### 交通アクセス



東海道新幹線をご利用の場合

- ・東京から 約97分
- ・新大阪から 約51分

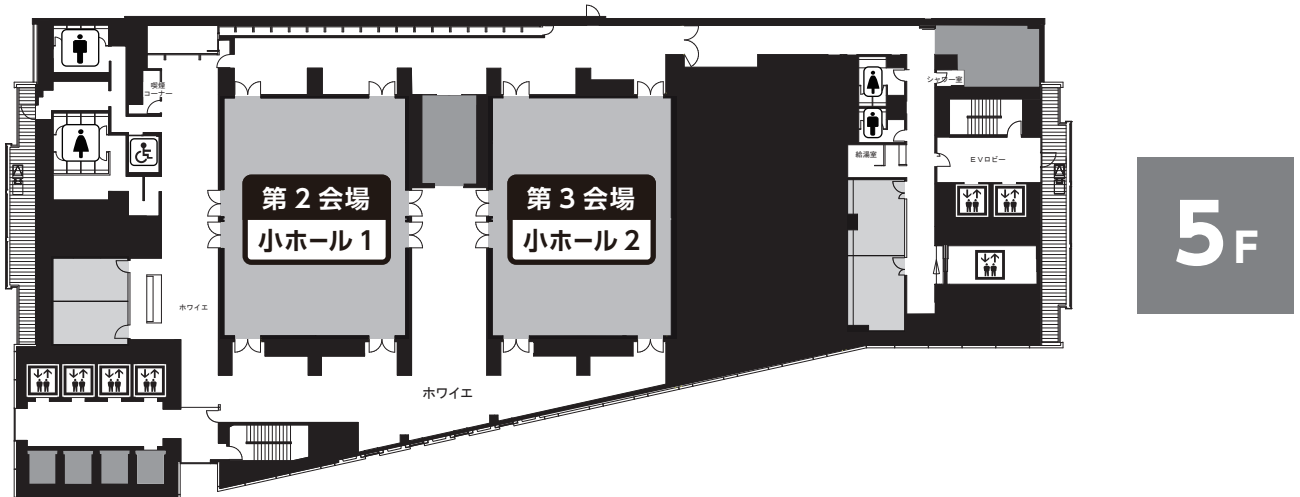
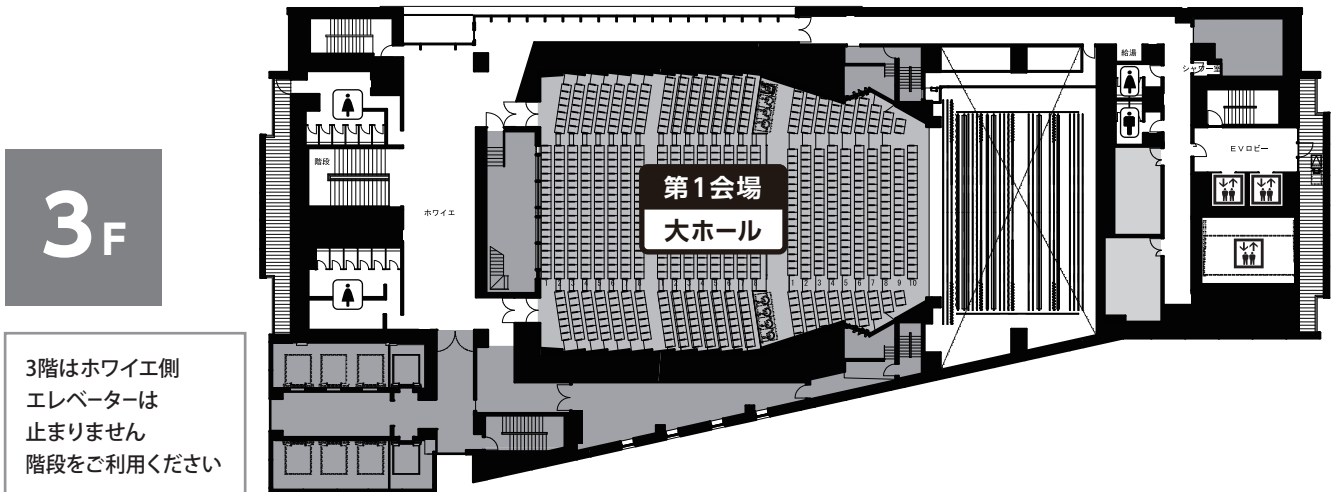
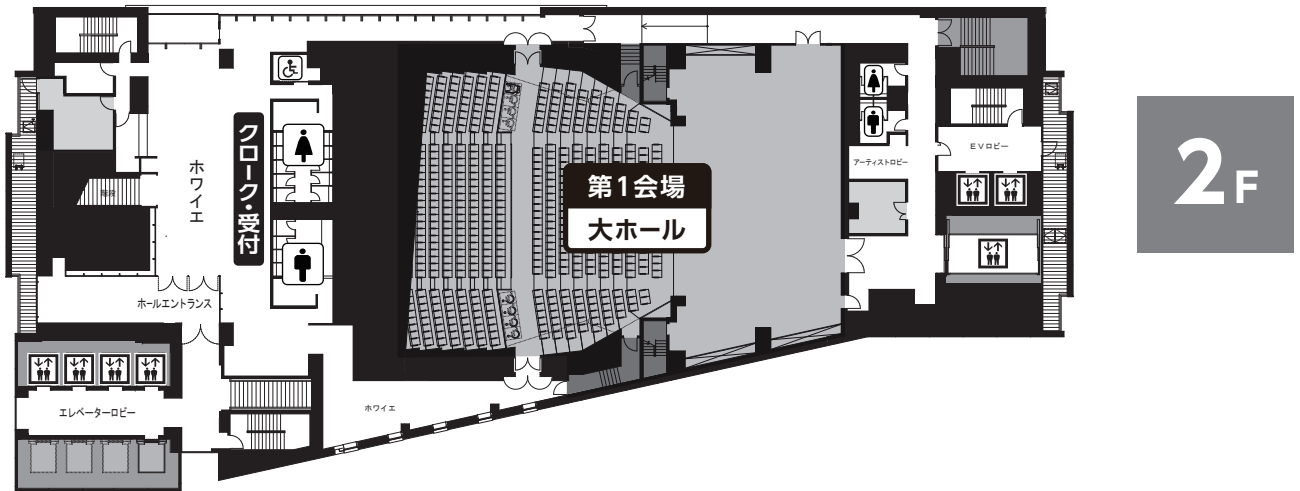


飛行機をご利用の場合

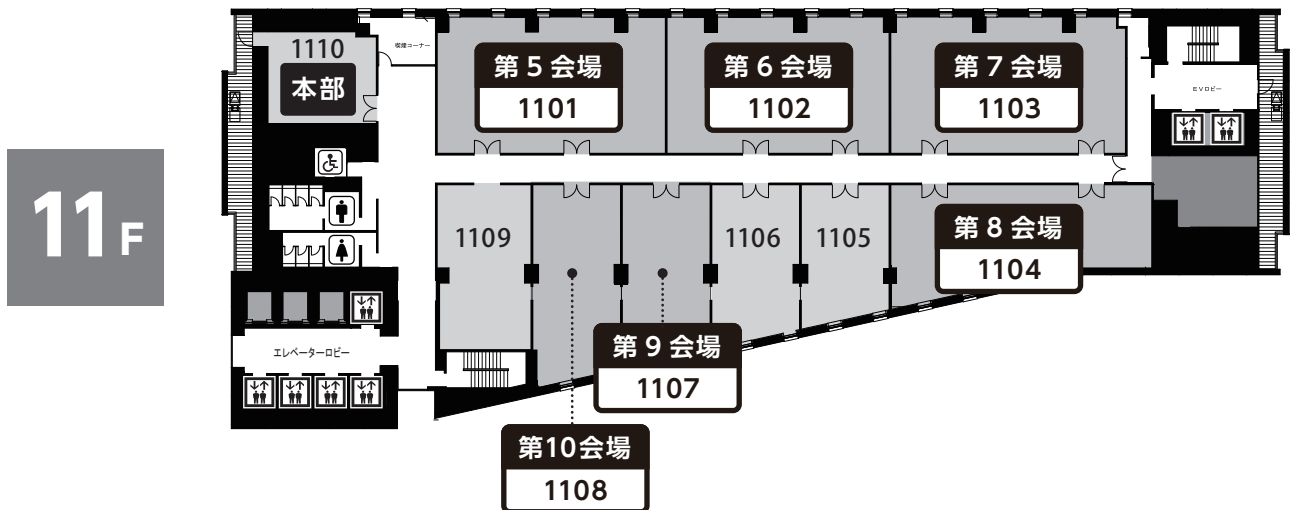
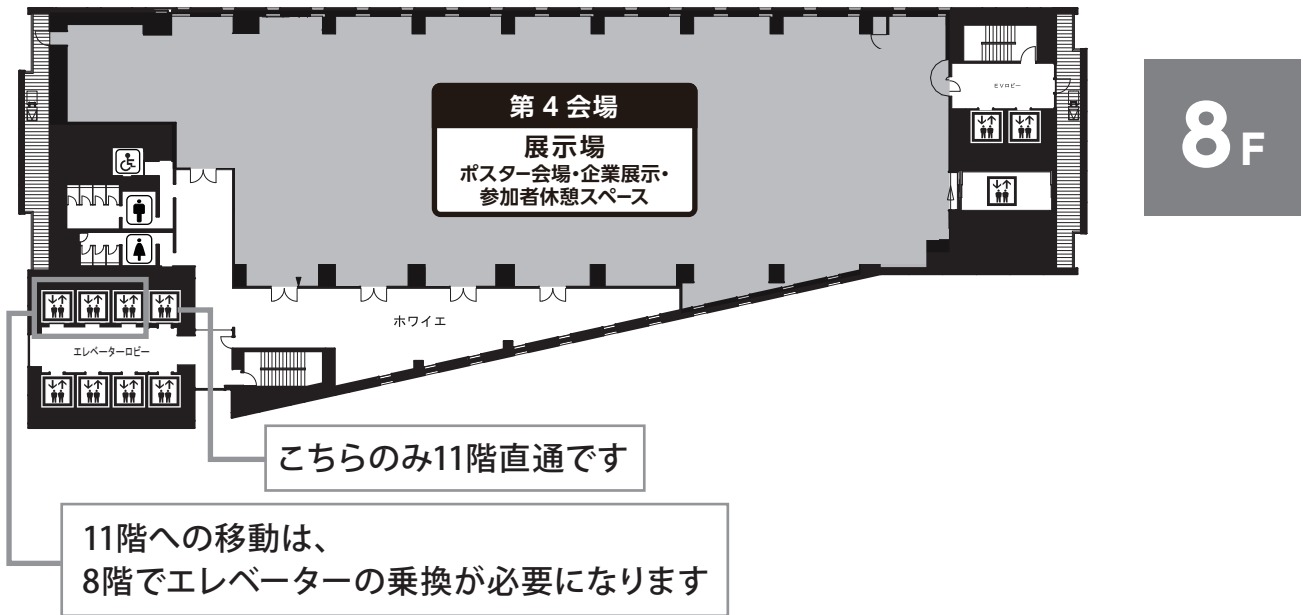
- 中部国際空港(セントレア)から
- 名鉄空港線特急利用 約30分

\*所要時間には、乗り換え・待ち時間を含みません。また、時間帯により多少異なります。

# 会場配置図 (2・3・5F)



# 会場配置図 (8・11F)





## 2. 受付場所と受付時間

場所：ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 2階ホワイエ  
時間：1月4日(土) 9:20~16:00  
1月5日(日) 8:30~14:00

## 3. 受付方法

### 【事前申込をされた方へ】

受付は不要です。

Confitマイページ(<https://japhn.confite.atlas.jp/login>)でダウンロードできる参加証(名札)をご自身で印刷してご持参ください。

会場に名札ケースを用意しています。ケース内に名札を入れてご着用ください。

※カラー印刷が難しい方、当日お忘れの方は総合受付にお申し出ください。

その際、参加証のPDF画面をスマートフォン等でご提示いただけますとスムーズです。

### 【当日申込をされる方へ】

できるだけ <https://japhn.confite.atlas.jp/login> から参加登録をしていただき、オンライン上でカード決済をお願いします。

決済後に表示される「参加証ダウンロード」のボタンから、名札・参加証がダウンロードできますので、受付にご提示ください。名札と名札ケースをお渡しします。

名札に必要事項を記入し、名札ケースに入れてご着用ください。

上記が難しい場合は総合受付にお申し出ください。窓口で受付対応をさせていただきます。なお、会場でのお支払い方法は、現金のほか、クレジットカード、各種電子決済も可能とする予定です。

## 4. クローク

2階大ホールホワイエにクロークを設置いたします。貴重品はお預かりできません。

時間：1月4日(土) 9:20~18:20

1月5日(日) 8:30~17:15

### 懇親会へご参加の方へ

お荷物を預けられる際に、懇親会へ参加とお伝えください。

## 5. 飲食について

### 1) ランチョンセミナー

- ・ 1月5日(日)、第2会場・第3会場にてお弁当付きのランチョンセミナーを開催します。
- ・ セミナーはチケット制です。チケットは開催日の受付開始時間(8:30)より、5階ホワイエにて配布します。
- ・ 配布は先着順とし、チケットがなくなり次第配布を終了します。
- ・ チケットは名札をお持ちの方にお配りしますので、名札をご着用ください。
- ・ お渡しできるチケットは1人1枚です。複数の方の分をお渡しすることはできません。
- ・ チケットはプログラム開始3分後に無効となります。できるだけ開始時間までに入室してください。
- ・ キャンセル待ちをされる場合は、残席がある場合に限りプログラム開始3分後から入室可能となります。

### 2) 飲食等の提供について

- ・ 第4会場(8階展示場)にて、東洋羽毛東海販売株式会社による無料のコーヒーサービスがあります。
- ・ 8階、11階には飲料の自動販売機があります。
- ・ 1階にはコンビニエンスストア、建物地下及び近隣には飲食店があります。

### 3) 飲食可能な会場について

- ・ 第4会場(8階展示場)に休憩スペースを用意しています。
- ・ 大ホールは飲食禁止です。  
飲食が可能な会場については受付及び各会場にて表示いたします。  
ただし、においの強いものや汁気の多いものはお控えください。
- ・ ワークショップなどで会話がある場面での飲食はお控えください。
- ・ ご利用の後は保清にご協力をお願いいたします。

## 6. 企業展示

第4会場(8階展示場)には企業展示ブースがあります。ぜひお立ち寄りください。  
出展企業・団体は協賛一覧でご確認ください。

## 7. 会場内のインターネット接続

会場の無線LAN(Wi-Fi)が利用できます(初期設定では承認操作が必要です)。  
ただし、接続速度や安定性は保証できませんこと、ご了承ください。

## 8. 注意事項

### <会場利用について>

- ・ 会場内は禁煙です。
- ・ 会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ 11階への移動の際は、8階でエレベーターを乗り換える必要があります。
- ・ エレベーターが混み合う可能性がありますので、可能な範囲で階段もご利用ください。

### <権利保護>

- ・ 講演・発表内容の撮影・録音を行うことは権利侵害となりますため、固く禁止いたします。撮影・録音等を行っていることが明らかとなった場合には、それ以降の学術集会への参加をお断りいたします。報道・記録関係者(腕章や取材者証着用者)に限り、写真撮影・録画・録音を許可します。取材をご希望の場合は総合受付にお申し出ください。

### <ご参加にあたって>

- ・ 感染予防にご留意いただき、体調不良の際はオンライン参加とする、またはお早めにご帰宅いただくなど、自己管理をお願いいたします。
- ・ ワークショップ参加の際はマナーを守ってご参加ください。意見交換の際は企画趣旨にそって意見交換を行い、意図的に何かを宣伝したり、当該ワークショップの趣旨と無関係な内容を発言したりすることは控えてください。

### <開催中止について>

- ・ 感染症の流行や災害等により、学術集会の自粛が必要な場合、速やかに現地会場での学術集会の中止を決定し、オンライン開催のみに切り替えます。この場合、学術集会ホームページに緊急掲示するとともに、会場の入口等に掲示します。

# オンラインでのご参加について

## 1. オンライン開催ページ



第13回 日本公衆衛生看護学会学術集会 オンライン開催ページ

<https://japhn13.online.yupia.net/>

ログイン可能期間：2月9日(日)まで

- ・ オンライン開催ページに、ライブ配信のURLやオンデマンド配信の動画および発表ファイルを掲載します。
- ・ 講演集も、上記にログインしてダウンロードしてください。
- ・ 現地開催当日は、第1会場のプログラムをライブ配信します。
- ・ 会場開催の記録動画やワークショップの事後配信動画(ワークショップによりある場合とない場合があります)は、開催後1週間～10日のうちに掲載予定です。掲載後、メールおよびホームページでお知らせいたしますので、少々お待ちください。
- ・ オンライン開催ページはGoogle Chrome, Microsoft Edgeの最新版で動作確認をしています。スマートフォンでもご覧いただけます。なお、Internet Explorerでは正しい動作が保証できません。
- ・ オンライン開催ページは12月25日プレオープンする予定です。プレオープンしましたらメールでご連絡しますので、現地開催・ライブ配信の前にログインをお試しください。
- ・ 操作せずに6時間が経過するとログアウト状態になります。お手数ですが、再度ログインをお願いいたします。

## 2. ログイン情報

- ・ オンライン開催ページにログインするためには、IDとパスワードが必要です。
- ・ IDとパスワードは入金確認後、「ログイン情報のお知らせ(第13回日本公衆衛生看護学会学術集会)」という件名のメールでご連絡します。12月23日までに入金確認ができた方には12月25日に、それ以降の方には3営業日以内に順次ご連絡します。
- ・ IDとパスワードはご本人専用です。複数名でのご利用は避けてください。視聴する方は全員参加登録及びお支払いの上、個別にログインをお願いいたします。
- ・ 同じPCから別の方が参加される場合は、一度ログアウトをして頂き、改めてご自身のIDとパスワードでログインしてください。
- ・ ログインの際は、参加にあたっての留意事項についてご確認いただき、遵守する旨のチェックを入れてログインしてください。



### 3. ライブ配信（1月4日、5日）ご視聴の方へ

- ・ 現地開催日にはZoomでのライブ配信を行います。第1会場はZoomウェビナーを利用します。ワークショップについては世話人の設定によります。
- ・ ライブ配信のURLは、オンライン開催ページの「ライブ配信」のページに掲載します。
- ・ ウェビナーではご自身のビデオやマイクをオンにすることはできません。
- ・ ミーティングではご自身のビデオやマイクをオンにして、双方向のやり取りをすることができます。ワークショップの意見交換やグループワーク等の際は、世話人の指示に従ってください。

#### 【Zoom利用についてのお願い】

- ・ Zoomは必ず最新版に更新してください。  
<https://zoom.us/download>
- ・ Zoomアプリケーションをインストールしてご利用いただくことをおすすめします。ブラウザで利用することもできますが、映像や音声がスムーズに送受信できない場合があったり、一部の機能が利用できなくなりますことをご了承ください。
- ・ Zoom利用にご不安がある場合は以下の手引きをご参照ください。  
接続テストができるリンク先も文書の最後に記載しています。

<Zoom参加の手引き> ※手引き作成時から機能が更新されている場合があります  
スマホ版 [https://www.yupia.net/tips/ZOOM\\_forMobile.pdf](https://www.yupia.net/tips/ZOOM_forMobile.pdf)  
PC版 [https://www.yupia.net/tips/ZOOM\\_forPC.pdf](https://www.yupia.net/tips/ZOOM_forPC.pdf)

### 4. オンデマンド配信へのリアクション

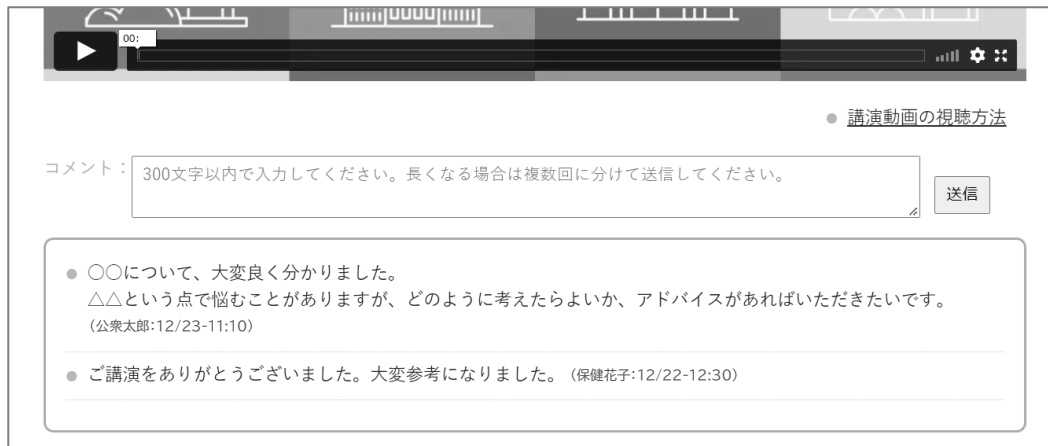
- ・ 各プログラムのページには、コメント欄や質問・感想掲示板を設置しており、一般演題では「拍手」を押すことができます。ぜひ積極的にご活用ください。
- ・ コメント欄や質問・感想掲示板への投稿内容について、事務局が不適切と判断した内容については削除させていただく場合がありますのでご了承ください。不適切な書き込みを発見した方は、速やかにお知らせください。

#### 1)メインプログラム

各プログラムにコメント欄を設置しています。

投稿すると、ご自身の氏名と投稿時刻が自動的に表示され、公開されます。

質問の書き込みも可能ですが、基本的には回答できませんことをご了承ください。



## 2)一般演題

演題毎に「質問・感想」「拍手」のボタンを用意しています。ブラウザによっては正しく動作しませんので、推奨ブラウザ(Google Chrome, Microsoft Edge)をご利用ください。



### (1)質問・感想

クリックすると該当演題の掲示板が開き、質問・感想を書き込むことができます。

投稿すると、ご自身の氏名と投稿時刻が自動的に表示され、公開されます。発表者からの返信に対してさらに返信を書き込むことも可能です。

(質問・感想ボタンをクリックした際の画面表示例)



質問・感想の書き込みがある演題では、質問・感想ボタン上に丸印が表示されます。  
投稿履歴は各自の「メッセージボックス」(後述)のページで確認できます。

発表者が回答する時間が必要ですので、ご質問はできるだけオンライン開催期間終了の5日前までをお願いします。なお、回答がない場合もありますことをご了承ください。

投稿内容は全ての参加者が閲覧できます。個人情報や公開不可の内容は記載しないようご注意ください。

## (2)拍手

手のマークが拍手ボタンです。何度でも押すことができます。

押すと音が鳴ります。ページ内に拍手音のオン・オフの切り替えボタンがあります。

「拍手」は匿名であり、誰が押したかはわかりません。

## 5. メッセージボックス

- ・ オンライン開催ページの中には「メッセージボックス」という名前のページがあります。
- ・ このページでは一般演題の掲示板においてやりとりされた質問・感想の履歴を表示します。表示内容は、ログインした方に個別の内容となります。
- ・ 質問・感想があった場合、投稿者・発表者にメールが送信されます。メール不要の場合はメールを受け取らない旨のチェックボックスにチェックを入れてください。

## 6. 注意時事項

講演・発表内容のスクリーンショットを撮ることや、撮影・録音を行うことは権利侵害となりますため、固く禁止いたします。スクリーンショットの撮影、その他撮影・録音等を行っていることが明らかとなった場合には、それ以降の学術集会への参加をお断りいたします。

## 一般演題発表者の方へ

口演発表は、「オンライン開催ページ」上で音声入り動画ファイルをオンデマンド配信します。現地での発表はありません。

示説発表は、「オンライン開催ページ」上でPDFファイルをオンデマンド配信します。また、現地では、ポスターを掲示して発表・質疑応答を実施していただきます。

準備やオンライン開催ページ上での対応に関する詳細は、学術集会ホームページ「発表者・世話人の方へ」のページをご参照ください。

### 示説 現地発表について

- ・ 発表者受付はありません。8階の該当の演題番号のパネルにポスターを掲示してください。（ポスタープリントサービスをご利用の場合はスタッフが掲示します。）
- ・ 左上に20cm×20cmで演題番号を掲示します。演題番号は隠さないでください。（演題番号の裏にポスターを差し込んでも、演題番号より下の位置から掲示しても結構です。また、ご自身のポスターに演題番号が表示されている場合は、そのまま掲示していただいても構いません。）
- ・ 発表セッションの開始5分前までには、ご自身のポスター前でご準備ください。必要時は、セッション開始前に座長と打ち合わせをお願いします。
- ・ 1演題あたりの発表時間は10分間（発表7分、質疑3分）です。時間内で発表が完了するようにご協力をお願いいたします。当日はスタッフが1分前、終了時間にお声掛けいたします。
- ・ 座長が指し棒をお渡しします。ご不要の場合は座長へお戻しください。
- ・ 急遽欠席の方がいらした場合は、発表順を詰めてご発表いただきます。
- ・ 掲示・撤去は以下に指定する時間内をお願いいたします。指定する撤去時間内に撤去されていないポスターについては、事務局で処分させていただきます。ポスタープリントサービスをご利用の場合は持ち帰り用の箱を足元にご用意しますので、ご利用ください。

#### <ポスター掲示・撤去時間>

演題群	掲示時間	撤去時間
1日目発表者（第20群まで）	土曜 9:30～12:15	土曜 17:00～17:30
2日目発表者（第21群以降）	土曜 17:30～18:20 日曜 8:30～ 9:15	日曜 15:40～16:10

## 一般演題示説 座長の方へ

- ・ 担当される演題群のセッション開始15分前までに、8階ポスター会場の受付にお声掛けください。座長用名札をお渡ししますので、ご着用をお願いいたします。
- ・ 演題群開始10分前までに該当演題のパネル前にてご準備ください。スタッフから指し棒をお渡ししますので、各発表者へのお渡し・受け取りをお願いいたします。指し棒を利用しない発表者からは引き取ってください。
- ・ 発表は1演題につき10分間(発表7分、質疑3分)です。スタッフがタイムキープを行い、1分前と終了時間にお知らせします。
- ・ 欠席の演題がある場合は、そのまま時間を詰めて次の演題に進んでください。
- ・ 終了後はスタッフに指し棒・座長用名札をお渡しください。
- ・ セッション時間内に演題群の発表が終了するよう、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ワークショップ世話人の方へ

### <開始まで>

- ・ ワークショップの受付はありません。指定された時間に会場(5階あるいは11階)に直接お入りください。
- ・ 会場の準備は全て世話人の方が行ってください。会場には、前のプログラム終了後にご入場をお願いします。
- ・ 話題提供者等、当該ワークショップに話題提供のためだけに参加する方がいらっしゃる場合は、事前に運営事務局へご連絡ください。当日、ワークショップ会場責任者より話題提供者用の名札をお渡しします。受付に話題提供者がいらしても対応できませんので、世話人が待ち合わせ場所や時間を設定するなどして話題提供者用の名札を渡してください。ワークショップ終了後は名札の返却をお願いします。
- ・ 事前の打ち合わせが必要な場合、専用のお部屋をご用意できません。休憩スペースや近隣の飲食店等を適宜ご利用ください。

### <会場設備について>

- ・ ハイブリッド開催を行う会場は、ライブ配信のためのインターネット接続・音響設定をしています。それ以外の会場ではライブ配信用のご用意はありません。
- ・ 会場の無線LANは上記以外の会場でも適宜利用できます。ただし接続速度や安定性は保証できませんこと、ご了承ください。
- ・ 第3会場は前方のみスクール形式(机あり)・後方はシアター形式(椅子のみ)です。会場外入口に受付用の机を出すことができます。掲示スタンド等のご用意はありません。机に貼るなどしてください。マイクは有線2本、無線2本が利用できます。
- ・ 第5～10会場はすべてスクール形式(机あり)です。通路が非常に狭いため、会場外での受付はできません。掲示スタンドも利用できませんが、掲示物を扉にマグネットで貼り付けることができます。
- ・ 第5～8会場で利用できるマイクは、有線2本、無線2本です。
- ・ 第9、10会場で利用できるマイクは、無線2本です。
- ・ 演者席にWindowsPCを1台をご用意します。HDMI接続で会場のプロジェクター・スクリーンが使用できます。また、ホワイトボードを1台用意します。  
それ以外の機器が必要な場合は原則として世話人でご準備をお願いいたします。

#### <運営・片づけ>

- ・ 運営・進行・片付け(現状復帰)はすべて世話人が行ってください。時間内に片づけまで終了し、終了時刻までに退出してください。終了後の休憩時間には次のプログラムの方が準備できるよう、ご協力をお願いいたします。

#### <当日にライブ配信を行う場合>

- ・ Zoom等、ライブ配信で利用するオンラインミーティングの参加用URLは世話人がご自身で設定の上、12月16日(月)までに運営事務局 [japhn13@yupia.net](mailto:japhn13@yupia.net) にご連絡ください。
- ・ PCのご用意は1台のみです。ホストとして、または視聴確認用としてPCが必要な場合は別途ご用意ください。
- ・ ライブ配信方法については、会場参加者とオンライン参加者の両者にスライドが見えるようにご配慮をお願いします。大学や施設等にて、事前に画面共有および映写のリハーサルをされることをお勧めします。
- ・ ライブ配信にあたっての参考資料は別途ご連絡します。

#### <事後オンデマンド配信を行う場合>

- ・ ご希望に応じて動画ファイルを1件のみ事後オンデマンド配信することができます。1月15日(水)までに運営事務局 [japhn13@yupia.net](mailto:japhn13@yupia.net) にご提出ください。確認できたものから順次掲載いたします。
- ・ 提出の際は、動画そのものの添付は控えてください。クラウドサービスやギガファイル便などのストレージサービスにアップロードしていただき、ダウンロードできるURLをお知らせください。

#### <その他>

- ・ 一般演題と異なり、ワークショップのオンデマンド配信のページには質問掲示板や拍手などはございません。



# プログラム

## 第1日目 1月4日(土)

開会式 第1会場（大ホール） 10:00～10:30

会長講演 第1会場（大ホール） 10:35～11:05

### 多様なパートナーとともに未来を創る公衆衛生看護

座長：岡本 玲子（日本公衆衛生看護学会 理事長/大阪大学大学院 教授）

演者：坂本 真理子（愛知医科大学看護学部 教授）

基調講演 第1会場（大ホール） 11:10～12:00

### 多様な分野とのパートナーシップは公衆衛生をどう変えていくか

座長：坂本 真理子（愛知医科大学看護学部 教授）

演者：尾島 俊之（浜松医科大学医学部健康社会医学講座 教授）

特別講演 第1会場（大ホール） 13:00～13:50

### Health & Happiness を追求するWell-beingへの新アプローチ

座長：石黒 美佳子（蒲郡市こども健康部 健康推進監兼ウェルビーイング推進監）

演者：武部 貴則（大阪大学 大学院医学系研究科 教授／  
ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 副拠点長／  
東京医科歯科大学 統合研究機構 教授／  
横浜市立大学 特別教授／  
コミュニケーション・デザイン・センター長／  
シンシナティ小児病院 幹細胞・オルガノイド医療研究センター  
副センター長／准教授）

## 役割を超えて自分らしく生きることを考えてみよう！

座長：若杉 里実（愛知医科大学看護学部 学部長/教授）

演者：濱田 安岐子（NPO法人看護職キャリアサポート 代表）

## 健康格差にどう向き合うか I ～未来を創る社会環境づくり～

座長：蒔田 寛子（豊橋創造大学保健医療学部看護学科 教授）  
野口 弘美（小牧市健康生きがい支え合い推進部保健センター所長）シンポジスト：荒 昌史（株式会社 HITOTOWA 代表取締役）  
白水 洋子（特定非営利活動法人NPOまんま 代表理事）  
恒松 秀紀（株式会社 南九州ファミリーマート取締役 総務部長）  
藤田 綾子（日進市福祉部地域福祉課 総括保健師）  
櫻木 順子（日進市福祉部地域福祉課 地域支援係長）未来を“つむぐ”人づくり～<sup>かなめ</sup>要となる中堅期保健師の存在～

座長：出口 さとみ（愛知県保健医療局健康医務部医療計画課 担当課長）

演者：加納 恵里奈（愛知県保健医療局健康医務部医療計画課 主査）

山崎 信人（名古屋市天白区福祉部福祉課 課長補佐）

## しなやかにつながる地域職域連携

座長：荒木田 美香子（川崎市立看護大学 副学長/教授）  
渡井 いずみ（浜松医科大学医学部看護学科 教授）シンポジスト：渡井 いずみ（浜松医科大学医学部看護学科 教授）  
池田 裕美（大分県保健部 健康政策・感染症対策課 地域保健推進監）  
石黒 美佳子（蒲郡市こども健康部 健康推進監兼 ウェルビーイング推進監）  
松浦 清恵（トヨタ自動車株式会社 安全健康推進部総括室 主幹）  
岡田 睦美（一般社団法人 産業保健師会会長）

特別企画	第2会場（小ホール 1）	16:20~17:00
------	--------------	-------------

**性的少数者LGBTQも利用しやすい保健サービスとは**

座長：大木 幸子（杏林大学保健学部看護学科 教授）

演者：金子 典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科・看護学部 教授）

会員集会	第1会場（大ホール）	17:10~17:40
------	------------	-------------

表彰式	第1会場（大ホール）	17:40~18:00
-----	------------	-------------

懇親会	第3会場（小ホール 2）	18:30~20:30
-----	--------------	-------------

## 第2日目 1月5日(日)

### シンポジウム C

第1会場 (大ホール)

9:00~10:30

#### 大規模災害時に多様なパートナーで協働する ～当事者を中心に避難生活をいかに支えるか～

- 座長： 佐々木 裕子 (愛知医科大学看護学部 准教授)  
栗田 暢之 (特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体  
ネットワーク:JVOAD代表理事)
- シンポジスト： 本間 雅代 (石川県能登北部保健福祉センター 次長兼企画調整課長)  
菅野 拓 (大阪公立大学大学院 准教授)  
浅野 幸子 (減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)  
栗田 暢之 (特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体  
ネットワーク:JVOAD代表理事)

### シンポジウム F

第2会場 (小ホール 1)

9:00~10:20

#### 健康格差にどう向き合うかⅡ ～誰も取り残さない支援をめざして～

- 座長： 水谷 聖子 (日本福祉大学看護学部 教授)  
丸谷 美紀 (国立保健医療科学院 生涯健康研究部 特任研究官)
- シンポジスト： 原田 正樹 (日本福祉大学 学長)  
加藤 昭宏 (同朋大学社会福祉学科 専任講師)  
後藤 文枝 (東海市社会福祉協議会 事務局長)

助成:公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

### 公衆衛生看護セミナー D

第3会場 (小ホール 2)

9:10~10:10

#### 医療現場における性感染症のリアル ～公衆衛生看護の活動現場でプレコンセプションケアの視点から 性感染症をどう伝えるか！～

- 座長： 青山 政美 (岡崎市保健部保健予防課 保健部次長兼保健予防課長)  
演者： 伊藤 加奈子 (ココカラウィメンズクリニック 院長)

**シンポジウム G**

第2会場（小ホール 1）

10:40～12:10

**誰一人取り残さない親子支援 ～出生直後から始まる医療的ケア児支援～**

- 座長：岡本 理恵（名古屋市中川区保健福祉センター福祉部 部長）  
加藤 直実（愛知県保健医療局健康医務部健康対策課健康づくり担当課長）
- シンポジスト：三浦 清邦（愛知県医療療育総合センター中央病院 副院長）  
飯村 紫帆（医療的ケアPPS.lab 代表）  
関根 公恵（みよし市こども未来部こども相談課 保健師長）  
家入 香代（国際医療福祉大学 教授）

助成：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

**公衆衛生看護セミナー E**

第3会場（小ホール 2）

10:40～11:40

**明日から使える「やさしい日本語」講座 ～外国人の健康相談に活用するために～**

- 座長：柳澤 理子（愛知県立大学看護学部 教授）  
演者：黒田 友子（やさしいコミュニケーション協会 代表理事）

**シンポジウム D**

第1会場（大ホール）

10:50～12:20

**災害発生時に迅速に対応するための仕掛けづくり  
～組織縦断・横断的な働きかけと人材育成～**

- 座長：春山 早苗（自治医科大学看護学部 教授）  
山本 幸子（愛知県西尾保健所 健康支援課長）
- シンポジスト：春山 早苗（自治医科大学看護学部 教授）  
出口 さとみ（愛知県保健医療局健康医務部医療計画課 担当課長）  
有川 かがり（愛知県清須保健所健康支援課 課長）  
水谷 文美乃（愛知県西尾市健康福祉部健康課 課長補佐）

**ランチョンセミナー 1**

第2会場（小ホール 1）

12:30～13:20

**ケアする人にとってのオレムセルフケア理論—小児看護を通して****健康とウェルビーイングのためのセルフケアの時代**

- 座長：中村 安秀（公益社団法人日本WHO協会 理事長  
国立看護大学校 特任教授）

**ケアする人にとってのオレムセルフケア理論—小児看護を通して**

- 演者：片田 範子（三重県立看護大学 理事長 学長）

共催：一般社団法人日本セルフケア推進協議会

## ランチオンセミナー 2

第3会場（小ホール 2）

12:20～13:10

### 就労女性の健康支援

座長：坂本 真理子（愛知医科大学看護学部 教授）

演者：永田 知映（東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 講師）

共催：大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部

## 公衆衛生看護セミナー C

第1会場（大ホール）

13:20～14:40

### 親子支援の政策の変化と公衆衛生看護の役割

座長：門間 晶子（名古屋市立大学大学院看護学研究科・看護学科 教授）

演者：佐藤 拓代（公益社団法人母子保健推進会議 会長）

中板 育美（武蔵野大学看護学部 学部長・教授）

## シンポジウム H

第2会場（小ホール 1）

13:30～15:00

### “にも包括”の構築推進と地域保健への期待

～精神保健と精神福祉の違いを理解し、協働するために～

座長：岩上 洋一（厚生労働省にも包括構築支援事業委員長  
社会福祉法人じりつ 理事長）

戸田 輝子（愛知県津島保健所健康支援課 課長）

シンポジスト：岩上 洋一（厚生労働省にも包括構築支援事業 委員長  
社会福祉法人じりつ 理事長）

清水 裕子（埼玉県志木市役所子ども・健康部健康政策課 参事兼課長）

加藤 千礼（愛知県保健医療局健康医務部医務課  
こころの健康推進室 主査）

渡邊 貴博（鶴舞こころのクリニック 院長）

## 市民公開講座

第3会場（小ホール 2）

13:30～15:30

### 住民サミット(交流会) in 愛知 地域で多様なパートナーとつながろう！

～地域の健康を高めるのはあなた～

座長：青柳 美樹（愛知県立大学看護学部 准教授）

【第一部】 13:30～14:30 住民団体・グループの活動紹介

【第二部】 14:30～15:30 交流会

**シンポジウム E**

第1会場（大ホール）

15:00～16:20

**若者の生きづらさに伴走する保健師活動の可能性**

- 座長：古田 加代子（愛知県立大学看護学部 教授）  
加藤 寿子（豊橋市健康部保健所こども保健課 子ども保健課長）
- シンポジスト：貴戸 理恵（関西学院大学社会学部 教授）  
大島 亜友美（名古屋市教育委員会子ども応援委員会  
スクールソーシャルワーカー）  
金田 文子（パーソナルラボ 専務理事）

助成：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

**パネルディスカッション**

第2会場（小ホール 1）

15:10～16:20

**未来を“つむぐ”人づくり ～プラチナ保健師と進める公衆衛生看護活動～**

- 座長：佐藤 かおり（名古屋市東区保健福祉センター 保健予防課長）
- パネリスト：佐伯 和子（富山県立大学 看護学部長/教授）  
長沼 裕子（名古屋市健康福祉局健康部公衆衛生看護担当 課長）  
島村 通子（静岡県健康福祉部健康局 参事）

**閉会式**

第1会場（大ホール）

16:30～17:00



# ワークショップ

★:ハイブリッド型(当日Zoom等による配信予定)

**3-1** 災害・健康危機管理委員会 1月4日(土) 12:40~14:00 第3会場(5階小ホール2)

感染症を中心とした健康危機への備え  
～市町村と保健所が一緒に取り組む保健師の健康危機管理保健活動と人材育成～  
河西 あかね (東京都多摩府中保健所)

**3-2** 1月4日(土) 14:20~15:40 第3会場(5階小ホール2)

災害時、すぐに動ける保健師になるために！  
経験からの継承—全国保健師長会 災害時保健活動特別委員会  
齊藤 和美 (大阪市平野区保健福祉センター)

**5-1★** 広報委員会 1月4日(土) 13:40~15:00 第5会場(11階1101)

公衆衛生看護の未来を拓く:会員アンケート調査結果に基づく実践的広報活動の構築  
板谷 智也 (宮崎大学医学部看護学科)

**5-2★** 1月4日(土) 15:20~16:40 第5会場(11階1101)

公衆衛生看護におけるエビデンスに基づく事業化/施策化実践モデルの開発と普及  
岡本 玲子 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

**5-3** 1月5日(日) 9:00~10:20 第5会場(11階1101)

倫理的課題を含む事例への看護展開～特定妊婦の支援に焦点をあてて～  
岡野 明美 (大阪公立大学大学院看護学研究科)

**5-4★** 認証制度委員会 1月5日(日) 10:40~12:00 第5会場(11階1101)

公衆衛生看護の認定専門家  
～なろう！語ろう！繋がろう！～  
中板 育美 (武蔵野大学)

**5-5** 1月5日(日) 13:25~14:45 第5会場(11階1101)

実践モデルを使って保健師活動を見る・魅せる  
松下 光子 (岐阜県立看護大学)

**5-6★** 実践ガイドライン委員会 1月5日(日) 15:00~16:20 第5会場(11階1101)

妊産婦に対する家庭訪問に関するガイドラインの作成経過の報告  
荒木田 美香子 (川崎市立看護大学)

6-1 1月4日(土) 13:50~15:10 第6会場(11階1102)

児童虐待対策に携わる多職種間での保健師の役割  
~多職種で構成される要保護児童対策地域協議会から~

森 礼子 (日本福祉大学)

6-2★ 1月4日(土) 15:30~16:50 第6会場(11階1102)

動き出した「こども家庭センター」における母子保健と児童福祉の一体的支援を考える

佐藤 睦子 (武蔵野大学看護学部)

6-3★ 1月5日(日) 9:10~10:30 第6会場(11階1102)

公衆衛生看護活動の強力なパートナーとしての「映画」たち

大野 祐子 (東京工科大学)

6-4★ 1月5日(日) 10:50~12:10 第6会場(11階1102)

集まろう、つながろう、話そう 今日から活かせる教育実践のあれこれ  
~学生とともに育ちあう教育~

渡邊 千秋 (武蔵野大学 看護学部看護学科)

6-5★ 1月5日(日) 13:20~14:40 第6会場(11階1102)

全ての経験を活かしたキャリア発達—2040、その先も見据えて

丸谷 美紀 (国立保健医療科学院)

6-6 1月5日(日) 14:55~16:15 第6会場(11階1102)

変わりゆく保健師の役割と変わらないコアについて考える  
~『多職種』『連携』をキーワードに~

唐川 祐一 (名古屋市健康福祉局健康部健康増進課)

7-1 1月4日(土) 14:00~15:20 第7会場(11階1103)

統括保健師に求められる専門的・行政的管理能力の教育プログラムの検討

田村 須賀子 (富山大学学術研究部医学系)

7-2 1月4日(土) 15:40~17:00 第7会場(11階1103)

広げよう！協働の可能性~知っていますか？多職種の取り組み~

石井 陽子 (川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科)

7-3 1月5日(日) 9:20~10:40 第7会場(11階1103)

デジタルネイティブ世代の子育てと保健指導を考える  
~公衆衛生看護の視点から見るスマホの影響~

田村 晴香 (名古屋大学大学院医学系研究科)

7-4 1月5日(日) 11:00~12:20 第7会場(11階1103)

多様な背景を持つ新任期保健師の人材育成について語ろう、分かり合おう、育ち合おう！

吹田 晋 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)

- 7-5 1月5日(日) 13:15~14:35 第7会場(11階1103)
- 
- 時代が求める！保健師記録の仕組みづくり！  
～保健師記録の改善を模索する自治体の取り組み～  
柳澤 尚代 (公衆衛生看護記録研究会)
- 7-6 1月5日(日) 14:50~16:10 第7会場(11階1103)
- 
- 統括保健師によるICTを活用した根拠に基づく人材育成とマネジメントの実際  
吉岡 京子 (東京大学大学院医学系研究科地域看護学・公衆衛生看護学分野)
- 8-1 1月4日(土) 13:40~15:00 第8会場(11階1104)
- 
- 「水俣病に学ぶ公衆衛生看護の役割と責任」第2回  
山口 忍 (茨城県立医療大学)
- 8-2 1月4日(土) 15:20~16:40 第8会場(11階1104)
- 
- 市町村における「保健事業評価」を紐解く  
田上 豊
- 8-3 1月5日(日) 9:00~10:20 第8会場(11階1104)
- 
- 未来を“つむぐ”人づくり  
－要(かなめ)となる中堅期保健師の研修会の取り組みを語り合おう－  
丹羽 永梨香 (愛知県清須保健所健康支援課)
- 8-4 教育委員会 1月5日(日) 10:40~12:00 第8会場(11階1104)
- 
- 多様なキャリアを有する新任期保健師への教育方法  
－コミュニケーション力の底上げを目指して－  
岸 恵美子 (東邦大学)
- 8-5 1月5日(日) 13:25~14:45 第8会場(11階1104)
- 
- 統括保健師等の役割発揮を促すネットワークづくり  
富岡 順子 (神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター, 全国保健師長会)
- 8-6 1月5日(日) 15:00~16:20 第8会場(11階1104)
- 
- －2kg、－2cmが達成できる特定保健指導について語りあおう！  
:アウトカム評価の導入1年目の振り返りと今後に向けて  
月野木 ルミ (東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 公衆衛生看護学分野)
- 9-1 1月4日(土) 13:50~15:10 第9会場(11階1107)
- 
- アディクションがある生活困窮者・生活保護受給者の健康と生活  
－障害がありながら地域で生活する人々の支援を通して－  
水谷 聖子 (日本福祉大学看護学部)

9-2 1月4日(土) 15:30~16:50 第9会場(11階1107)

不衛生な環境(いわゆる、ごみ屋敷)で生活するセルフ・ネグレクトの人への支援  
-生命のリスクが高いセルフ・ネグレクトの人への保健師の支援に焦点をあてて-

浜崎 優子 (佛教大学看護学科)

9-3 1月5日(日) 9:10~10:30 第9会場(11階1107)

個別課題から地域課題を思考する~地域課題発見型カンファレンスを通して~

斎藤 美矢子 (山口大学大学院医学系研究科)

9-4 1月5日(日) 10:50~12:10 第9会場(11階1107)

VUCA時代の公衆衛生看護-対話からはじまる地域づくり-

蓮井 貴子 (日本赤十字北海道看護大学)

9-5 1月5日(日) 13:15~14:35 第9会場(11階1107)

保健師としての自分らしい働き方  
~まず一步踏み出して見つけた、兼業での新しいキャリア~

豊岡 萌絵 (一般社団法人日本開業保健師協会, 株式会社トキエノ)

9-6 1月5日(日) 14:50~16:10 第9会場(11階1107)

つながろう!地域包括支援センター保健師  
-地域ぐるみの自立支援の推進に向けて-

古賀 佳代子 (福岡大学医学部看護学科)

10-1★ 1月4日(土) 14:00~15:20 第10会場(11階1108)

保健活動のモヤモヤと向き合う~ネガティブ・ケイパビリティとエフェクチュエーションで  
VUCA時代を生き抜く力を身につけよう~

川岡 和也 (島根県健康推進課, 島根県立大学大学院看護学研究科)

10-2★ 1月4日(土) 15:40~17:00 第10会場(11階1108)

院生倶楽部 ~保健師を目指す大学院生の交流を深めよう!~

松岡 菜摘 (神戸大学大学院保健学研究科)

10-3★ 1月5日(日) 9:20~10:40 第10会場(11階1108)

大学院を修了した保健師の本音トーク  
~保健師を取り巻く修士課程と修了後の保健師のキャリア形成のリアル~

沼田 誉理 (株式会社JMDC)

10-4★ 1月5日(日) 11:00~12:20 第10会場(11階1108)

若葉保健師からのメッセージ~語る門に”縁”来る in 愛知~

田中 茉悠 (国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻看護学分野  
修士課程)

10-5 倫理委員会

1月5日(日) 13:20～14:40 第10会場(11階1108)

---

初めての研究倫理審査, 来年は発表してみよう!

春山 早苗 (自治医科大学)

10-6

1月5日(日) 14:55～16:15 第10会場(11階1108)

---

グラフィックレコーディングを活用した事例検討会「グラレコ事例検討会」体験会  
～事例の見える化から生まれる安心の議論の場を体感しよう～

唐井 奈那子

# 一般演題

## 示 説

### 第01群 親子保健・福祉1

1月4日（土）12:30～13:30

座長：小出 恵子（大阪大学大学院）

P01-1a 産後の継続支援が必要な母子の情報共有の目的と情報共有に必要な母子の特徴  
～市町村保健師と医療機関助産師へのインタビューから～

松井 友美 （宮崎県立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程）

P01-2a 母子保健支援力の向上における取組 第1報  
～未熟児支援の標準化について～

藪内 夏美 （高槻市子ども保健課）

P01-3a 母子保健支援力の向上における取組 第2報  
～ハイリスク児支援会議の立ち上げについて～

新家 静 （高槻市子ども保健課）

P01-4a 市町村保健師による児童虐待予防のためのハイリスク妊産婦支援：  
支援内容及び課題・困難感に関する文献検討

吉田 睦子 （大阪大学医学系研究科保健学専攻）

P01-5a 保健婦の語りによる母子保健活動—家庭訪問を中心に—

守田 加寿子 （松戸市福祉長寿部高齢者支援課）

P01-6a 児童発達支援施設を利用する児の保護者を対象とした笑いヨガ実践による  
ストレスの軽減

尾関 唯未 （日本福祉大学）

### 第02群 親子保健・福祉2

1月4日（土）16:00～17:00

座長：水田 明子（聖隷クリストファー大学）

P02-1d 夜泣き育児を経験した生後6か月～1歳半の第1子を育てる父親における  
夜泣きへの意識

小林 晴夏 （富山県立大学看護学専攻科）

P02-2d 看護職による家庭訪問が妊産婦の養育行動に与える効果に関する系統的レビュー

山本 暁生 （神戸大学大学院保健学研究科）

P02-3d 一歳児を育てる母親の育児支援の利用状況と必要な育児支援  
～一歳児を育てる母親の育児力調査から～

松本 憲子 （宮崎県立看護大学大学院）

P02-4d 地域子育て支援拠点事業に参加する母親間の関係性と育児感情との関連  
三ッ川 恵美子(徳島県中央こども女性相談センター)

P02-5d 3か月児健診までの乳児とその保護者を対象とした子育て教室における保健師の  
支援方法について  
折田 真依 (大阪市鶴見区保健福祉センター)

P02-6d 「気になる親子」を支援するためのコミュニケーションを活用した学習教材の開発  
松原 三智子 (北海道科学大学公衆衛生看護学専攻科)

### 第03群 障がいをもつ人(子ども)の保健・福祉

1月4日(土) 13:40~14:40

座長: 竹中 香名子(愛知学院大学)

P03-1b 我が子の発達障害が疑われてから療育に至る過程の両親の体験  
小松 ひかり (富山県立大学大学院看護学研究科)

P03-2b 特別支援教育で活用可能なアクティブラーニングを取り入れた性教育教材の  
社会実装に向けて - 教材を活用した教育実践を行った教諭へのインタビュー -  
市戸 優人 (札幌市立大学 看護学部)

P03-3b 医療的ケア児及びその家族支援の取組  
~保健所保健師の個別支援から関係機関と連携した地域での支援へ~  
室岡 真樹 (新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部)

P03-4b 医療的ケア児等コーディネーター養成研修受講者の受講後の活動実態及び  
業務遂行に関連する困難感の要因  
山出 理恵 (京都府立医科大学大学院保健看護学研究科)

P03-5b 膠原病患者の出産・育児期の経験  
後藤 広恵 (梅花女子大学)

P03-6b 女性多発性硬化症病者の療養生活と育児への思い  
牧 千亜紀 (東京医療保健大学)

### 第04群 人材育成・キャリア支援1

1月4日(土) 14:50~15:50

座長: 麻原 きよみ(大分県立看護科学大学)

P04-1c A県内小規模市町村における保健師人材育成の現状と課題  
土屋 裕子 (千葉科学大学 看護学部看護学科)

P04-2c 市町村との共働による「自ら学び、互いに育ち合う」人材育成の体制づくりの取り組み  
(第1報)~保健師の育成環境や自己研鑽の状況把握から見たN圏域の現状と課題~  
鈴木 晶子 (東京都西多摩保健所)

P04-3c 市町村との共働による「自ら学び、互いに育ち合う」人材育成の体制づくりの取り組み  
(第2報)～調査から見えた課題に対するN圏域における中堅期研修の在り方の  
検討と取り組み～

吉澤 彩 (東京都西多摩保健所)

P04-4c A県内一般市町村保健師のOJT要素及びキャリアラダー到達度と職務満足に関連  
森永 裕美子 (岡山県立大学)

P04-5c 兵庫県保健師人材育成ガイドラインの改訂を通じた人材育成の推進について  
(第1報)～ガイドライン改訂の取り組みについて～

山下 久美 (兵庫県加東健康福祉事務所)

P04-6c 兵庫県保健師人材育成ガイドラインの改訂を通じた人材育成の推進について  
(第2報)～ワーキングにおける活動内容とメンバーへの人材育成の効果～

西原 沙織 (兵庫県保健医療部健康増進課)

## 第05群 人材育成・キャリア支援2

1月4日(土) 12:30～13:30

座長: 池内 里美 (三重大学)

P05-1a 看護学生のキャリアレジリエンスと対人コミュニケーションスキルとの関連

近藤 純子 (東京医療保健大学 和歌山看護学部)

P05-2a 看護専門学生1年次生がフィールドワークを通して得た学び

天野 圭一郎 (富士吉田市立看護専門学校)

P05-3a 保健師教育課程からみた自治体保健師としての就業状況と就業意向(第1報)  
～保健師教育機関 教員調査の結果から～

小野 治子 (大分県立看護科学大学看護学部)

P05-4a 保健師教育課程から見た自治体保健師としての就業状況と就業意向(第2報)  
～保健師教育機関 学生調査結果から～

臺 有桂 (神奈川県立保健福祉大学)

P05-5a 公衆衛生看護実習の学生指導における教員のメタ認知の様相

牛尾 裕子 (山口大学)

P05-6a 保健事業拡大への思い:住民に寄り添い活動を続ける熟練保健師のインタビューを  
とおして

平野 美千代 (札幌医科大学保健医療学部)

## 第06群 精神保健・福祉1

1月4日(土) 16:00～16:40

座長: 小林 恵子 (佐久大学)

P06-1d A町における若年層へ向けたこころの健康づくりの取組について  
～中学生との協働による啓発資材作成～

浅野 香奈 (菰野町役場 健康福祉課)



P06-2d 不登校・ひきこもり状態にある高校生年代への支援：居場所「eスポーツクラブ」の  
取り組み

福島 理恵 （雲南市健康福祉部長寿障がい福祉課）

P06-3d 自殺対策計画策定に向けた心の健康に関する市民意識調査による自殺への考えと  
抑うつ・孤独感の把握—自殺未遂の発生・再発予防と心の健康の向上を目指して—

石川 頌子 （横浜市健康福祉局こころの健康相談センター）

P06-4d 自殺未遂者支援を行う看護職の思いとサポート体制に関する文献レビュー

鈴木 由美 （大分県立看護科学大学大学院看護学研究科看護学専攻）

## 第07群 地区組織活動・グループ支援

1月4日（土）13:40～14:40

座長： 森永 裕美子（岡山県立大学）

P07-1b 介護予防ボランティアの活動休止・再開の要因

—茨城県におけるシルバーリハビリ体操指導士への質問紙調査から—

眞木 真奈美 （前茨城県立健康プラザ）

P07-2b 介護予防体操自主グループの活動継続につながる運営代表者・サポーターの技術

金谷 志子 （武庫川女子大学看護学部）

P07-3b 高齢者自主グループによる通いの場の運営参加への関連要因

篠原 一華 （神戸大学大学院保健学研究科）

P07-4b 「いきいき百歳体操サロン」への継続的な介入の取り組み

大関 優作 （恵庭市保健福祉部介護福祉課）

P07-5b 各小学校区の健康課題に応じた住民主体の地域健康づくりに向けての取り組み

勝村 実果 （八尾市健康推進課）

P07-6b 地域在宅高齢者支援に向けたハイブリッド家庭訪問教育教材モデルの検討

石川 信仁 （大阪成蹊大学）

## 第08群 感染症保健・福祉1

1月4日（土）14:50～15:50

座長： 夏目 恵子（愛知県新城保健所）

P08-1c 高齢者施設等社会福祉施設における平時からの「感染症対策地域支援ネットワーク」  
構築への取り組み

三上 真恵子 （青森県下北地域県民局地域健康福祉部保健総室（むつ保健所））

P08-2c 高齢者施設等における感染対策ラウンドの実践報告

林田 優希 （あかし保健所 保健予防課）

P08-3c 高齢者施設での感染症対策について—COVID-19対策のアンケート調査結果から—

小谷 侑嗣 （兵庫県東播磨県民局 加古川健康福祉事務所）

---

P08-4c 新型コロナウイルス感染症に係る高齢者の感染予防に対する意識調査  
杉本 拓海 (三重県鈴鹿保健所)

---

P08-5c 介護保険事業者連絡会と連携した感染性胃腸炎等感染症対策研修会の効果について  
橋本 美穂 (大阪市平野区保健福祉センター)

---

P08-6c レジオネラ感染症アウトブレイク対応における保健師の技術  
石川 なおみ (宮城県大崎保健所)

---

### 第09群 健康づくり・健康増進活動1

1月4日(土) 12:30~13:30  
座長: 板谷 智也(宮崎大学)

---

P09-1a 小中学生へのがん予防教育の取り組みの効果検証  
松尾 真由美 (日高川町役場 保健福祉課)

---

P09-2a 大学生のウォーキングポイントアプリの使用の関連要因の検討  
池田 紗姫 (長崎県立大学地域創生研究科人間健康科学専攻公衆衛生看護学コース)

---

P09-3a 大学生の余暇活動と主観的幸福感の関連  
福山 あゆみ (長崎県立大学地域創生研究科人間健康科学専攻公衆衛生看護学コース)

---

P09-4a スマホ依存防止に関する保健師への情報提供  
八幡 亜紀子 (神奈川県中央児童相談所)

---

P09-5a 生活上の「におい」に関する市民への周知・啓発の効果的な方法の検討  
市川 由希子 (西宮市)

---

P09-6a 生成AIによる看護過程の展開:架空の地域在住高齢者への歩数増加に向けた  
動機付け  
久司 周祐 (元北海道大学大学院保健科学院)

---

### 第10群 地域づくり・ソーシャルキャピタル1

1月4日(土) 16:00~17:00  
座長: 松尾 和枝(福岡女学院看護大学)

---

P10-1d 住民主体の運動自主グループ発足における地域包括支援センター保健師の役割  
~地域活動支援の事例を通して~  
向井 仁理 (介護老人保健施設ケーアイ 高槻北地域包括支援センター)

---

P10-2d 地域の看護職を元気に!地域包括ケアシステム構築を目指す「文京区看護職交流会」  
の取り組み  
高松 泉 (文京区福祉部福祉政策課福祉保健政策推進担当)

---

P10-3d 看護者対対象者の2者関係に基づく地域看護実践展開モデル活用ガイドの開発  
松下 光子 (岐阜県立看護大学)

---

P10-4d 多分野多職種で取組む部署横断ミーティングの仕組みづくり  
佐藤 仁瑛 (相模原市南保健センター)

---

P10-5d 重層的支援体制整備事業における8050問題に対する市町村保健師の  
支援の実態と意識

藤原 芳美 (広島文化学園大学 看護学部 看護学科)

P10-6d 同一小学校区に居住する祖父母世代を中心とした子育て支援活動が母親へ与える  
影響(第1報)

田崎 裕子 (新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程, 長岡崇徳大学)

### 第11群 親子保健・福祉3

1月4日(土) 13:40~14:40

座長: 草野 恵美子 (大阪医科薬科大学)

P11-1b 子育て移行期における両親学級(集団教育)の効果として夫婦関係への影響に関する  
スコーピングレビュー

山本 杏里紗 (浜松医科大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程,  
静岡県牧之原市役所 健康推進課)

P11-2b 夫婦の育児体制の転換期におけるコペアレンティング関係と育児感情の関連:  
0-3歳児の父親と母親の多母集団同時分析

大西 竜太 (富山県立大学看護学部, 北海道大学)

P11-3b 幼児前期の父親と母親における食事支援行動の実態とその差異:  
社会経済的要因の視点から

布村 美咲 (富山県立大学 看護学専攻科 公衆衛生看護学専攻)

P11-4b 幼児前期の健康な食習慣の形成を促す親の関わりと食生活リテラシーの関連:  
父親と母親の比較

船見 明花里 (富山県立大学 看護学専攻科 公衆衛生看護学専攻)

P11-5b 幼児前期の食生活における保護者の困りごと解決に資する育児情報の質 第一報:  
母親による情報の主観的評価

山内 亜美 (富山県立大学看護学専攻科公衆衛生看護学専攻)

P11-6b 幼児前期の食生活における保護者の困りごと解決に資する育児情報の質 第二報:  
父親による情報の主観的評価

椎名 美月 (富山県立大学 看護学専攻科 公衆衛生看護学専攻)

### 第12群 親子保健・福祉4

1月4日(土) 14:50~15:50

座長: 加藤 直実 (愛知県保健医療局)

P12-1c 両親学級参加者の産後のイメージと育児参加意欲(第1報):  
年齢や妊娠月数による比較

小林 梨那 (旭区保健福祉センター)

P12-2c 両親学級参加者の産後のイメージと育児参加意欲(第2報):  
参加前後およびペアでの比較

松井 菜摘 (武庫川女子大学看護学部)

P12-3c 父親の育児参画から考える妊婦教室の在り方について

瓜生 恵夢 (大阪市港区保健福祉センター)

P12-4c 妊婦面接記録票の課題とその取り組みについて

落合 淑恵 (大田区保健所健康づくり課)

P12-5c 特別区における「特定妊婦および飛び込み出産に関する実態調査」について

今関 浩子 (新宿区子ども家庭部子ども総合センター)

P12-6c 大学と共同による妊婦面接(ゆりかご面接)の評価についての一考察

関 郁子 (葛飾区健康部青戸保健センター)

### 第13群 人材育成・キャリア支援3

1月4日(土) 12:30~13:30

座長: 白石 知子(中部大学)

P13-1a 中堅期行政保健師の健康課題の明確化における情報収集能力とその関連要因

大村 有美 (神戸大学大学院保健学研究科)

P13-2a プレ管理期保健師のための「管理期コンピテンシーモデル」作成の取り組み  
—2年間の活動—

河原 寿賀子 (大阪府泉佐野保健所)

P13-3a 行政保健師の施策化能力形成～市町保健師への調査による検証～

渡部 瑞穂 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部)

P13-4a 公衆衛生看護におけるエビデンスに基づく事業化・施策化の実践1  
—保健師が主体的に行うべきことへの意見集約—

的打 麻利子 (大阪大学)

P13-5a 公衆衛生看護におけるエビデンスに基づく事業化・施策化の実践2  
—保健師と教育研究者による課題の認識—

阿波屋 咲季 (大阪大学大学院医学系研究科博士前期課程保健学専攻)

P13-6a 公衆衛生看護におけるエビデンスに基づく事業化・施策化の実践3  
—保健師が持つ課題の意見集約—

中林 万希 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

### 第14群 人材育成・キャリア支援4

1月4日(土) 16:00~17:00

座長: 村嶋 幸代(湘南医療大学)

P14-1d 地域包括ケアシステムにおける看取りケアを支える人が望む教育的サポート

小澤 美和 (日本医療科学大学)

P14-2d 新潟県の訪問看護ステーションにおけるICT活用の現状と教育プログラムのニーズ  
調査

山下 優子 (新潟大学医学部保健学科看護学専攻)

P14-3d 行政保健師が備えるネガティブ・ケイパビリティとその関連要因

氏原 将奈 (淑徳大学看護栄養学部)

P14-4d プレ管理期保健師の統括的能力獲得に向けた管理の内容と課題(第1報)  
～管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダーを活用して～

杉山 眞澄 (静岡県看護協会)

P14-5d プレ管理期保健師の統括的能力獲得に向けた管理の内容と課題(第2報)  
～人材育成に関する能力に焦点をあてて～

伊藤 純子 (静岡県立大学)

P14-6d 難病患者等保健指導事業マニュアル改訂に向けての取組み  
～保健所における難病保健指導事業実施状況調査について～

松本 明日香 (兵庫県保健医療部疾病対策課)

## 第15群 人材育成・キャリア支援5

1月4日(土) 13:40～14:40

座長: 古橋 完美 (愛知県瀬戸保健所)

P15-1b A大学看護学科における保健師就職の進路選択と決定に関連する要因

祝原 あゆみ (島根県立大学看護栄養学部看護学科)

P15-2b 保健師教育課程におけるキャリア教育の効果

上平 公子 (岐阜医療科学大学)

P15-3b 公衆衛生看護管理実習と町・保健所保健活動連絡会の協働による双方の学び

若山 好美 (天使大学 看護栄養学部 看護学科)

P15-4b 学部学生の臨地実習における大学教員による実習指導者への関わり

金崎 理子 (大分大学)

P15-5b 地域・在宅看護分野における「地域アセスメント」の位置づけの検討  
—教科書と看護師国家試験出題基準を照合して—

暇 素代 (奈良県立医科大学)

P15-6b 看護師課程における地域看護学実習の取り組み

澤井 美奈子 (湘南医療大学)

## 第16群 家族支援

1月4日(土) 14:50～15:50

座長: 松下 光子 (岐阜県立看護大学)

P16-1c 若年妊婦への継続的支援に向けた保健師の関わり

江口 亜沙美 (東京都 多摩府中保健所)

P16-2c 日本における未就学児を育てる共働き夫婦の  
Work Family Enrichmentに関する文献検討

石井 美由紀 (兵庫県立大学看護学部)

---

P16-3c 就学前の双子をもつ母親の育児状況と主観的幸福感との関連  
大羽 詩織 (愛媛大学大学院医学系研究科, 市民健康開発センターハーティ21)

---

P16-4c 乳幼児の子育て期における父親への集団支援のあり方の検討  
～父親へのフォーカスグループインタビューを通して～  
古賀 未那子 (福岡県立大学看護学部大学院, 福岡県大野城市役所)

---

P16-5c 乳児を持つ母親の育児不安の昼夜比較と関連要因  
旭 百合江 (小牧市健康生きがい支え合い推進部保健センター)

---

P16-6c 乳幼児を育てる母親の育児関連レジリエンスの関連要因の検討  
～社会経済状態の高低に着目して～  
遠藤 陽香里 (宮崎県延岡保健所)

---

## 第17群 精神保健・福祉2

1月4日(土) 12:30～13:30  
座長: 蔭山 正子(大阪大学)

---

P17-1a 第一線でひきこもりの相談支援に携わる行政機関等の支援者が抱える困難・課題  
—支援者へのインタビュー調査より—  
小林 義人 (新潟市こころの健康センター)

---

P17-2a 第一線でひきこもりの相談支援に携わる行政機関等の支援者による相談支援の  
実態(1)—ひきこもりの相談支援への対応—  
齋藤 智子 (新潟薬科大学看護学部)

---

P17-3a 第一線でひきこもりの相談支援に携わる行政機関等の支援者による相談支援の  
実態(2)—ひきこもりの相談支援における困難—  
渡邊 洋美 (新潟市黒埼地域保健福祉センター)

---

P17-4a 中年層のひきこもり支援に対する若手保健師の困難と求めている支援  
樋上 泰己 (川崎医療福祉大学 大学院 医療福祉学研究科 保健看護学専攻)

---

P17-5a セルフ・ネグレクトの兆候と関連する要因の検討  
—セルフ・ネグレクトへの態度・認識・行動の横断調査の結果より—  
岸 恵美子 (東邦大学大学院)

---

P17-6a セルフ・ネグレクト状態から終結に至った効果的な支援について  
—支援者のインタビュー調査の結果より—  
坂本 美佐子 (東邦大学大学院)

---

## 第18群 災害支援・減災/防災1

1月4日(土) 16:00~17:00

座長： 門間 晶子(名古屋市立大学大学院)

- P18-1d 在宅常時人工呼吸器使用患者災害時個別避難計画作成における地域ぐるみの取組について  
松尾 若奈 (広島市安芸区役所厚生部地域支えあい課)
- P18-2d 難病患者とともに取り組んだ在宅における災害対策推進のための動画作成～「在宅人工呼吸器使用の実際～ベッドサイドからのメッセージ～」～  
類家 由梨奈 (東京都多摩立川保健所)
- P18-3d 難病在宅療養者の災害時個別避難計画作成の担当者が認識する課題  
高橋 明日香 (富山県立大学大学院看護学研究科)
- P18-4d 西尾保健所における災害時保健活動体制整備への取組み～関係機関と連携した災害時個別支援計画の作成・避難訓練から課題と今後の方向性を考える～  
藤川 るみ (愛知県津島保健所)
- P18-5d 災害に備えるための公衆衛生看護活動の検討―被災当事者の体験から―  
曾根 志穂 (金城大学公衆衛生看護学専攻科)
- P18-6d 特別養護老人ホームの災害時の避難所としての役割についての文献検討  
渡邊 亜由美 (新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程)

## 第19群 健康づくり・健康増進活動2

1月4日(土) 13:40~14:40

座長： 藤丸 郁代(名古屋学芸大学大学院)

- P19-1b 事業者・地域・大学等と連携した食環境づくり ～移動販売会場での取組～  
岩瀬 牧子 (横浜市栄区福祉保健センター福祉保健課)
- P19-2b A市B区における食環境づくりに向けたカスタマージャーニーマップ作成を通して見えてきたこと  
吉田 裕美 (慶應義塾大学看護医療学部, 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)
- P19-3b 働き盛り世代における健康づくり政策への参加に対する思い  
横溝 珠実 (香川県立保健医療大学)
- P19-4b 新型コロナウイルス感染症の流行による主観的健康観の影響因子の変化の実態  
望月 麻衣 (松蔭大学)
- P19-5b 成人前期女性の運動習慣の獲得における関連要因  
森 冬祐乃 (三重県桑名保健所)
- P19-6b 蒲郡市における生活習慣改善が必要な住民に対する運動指導の効果  
樫本 貴己 (愛知県蒲郡市健康推進課)

## 第20群 地域づくり・ソーシャルキャピタル2

1月4日(土) 14:50~15:50

座長：平野 美千代(札幌医科大学)

- P20-1c 子育てグループにおけるリーダーを担う母親の意識の変化  
～コミュニティエンパワメントを促進する要因について～  
多村 知尋 (岡山市保健所健康づくり課北区中央保健センター)
- P20-2c 父親の孤立を防ぐ妊娠期からの子育て支援の取組み  
～父親を地域で支えるまちづくり～  
美濃羽 冴子 (愛知県東栄町役場福祉課)
- P20-3c 都市部在住の乳幼児を育てる母親と父親における育児ストレスと  
ソーシャルサポートの関連  
有本 梓 (横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野)
- P20-4c 保健師の住民組織・自主グループ支援項目案の妥当性の検討  
—デルファイ法による第1回調査結果—  
植村 直子 (東邦大学健康科学部)
- P20-5c 健康まちづくり事業における市民・行政・大学が連携した「健康アンケート調査」の  
取り組み  
戸渡 洋子 (熊本保健科学大学)
- P20-6c 「にしよど健康No.1プロジェクト」がんリテラシー向上の取組み  
江川 呼幸 (大阪市西淀川区保健福祉センター)

## 第21群 親子保健・福祉5

1月5日(日) 9:30~10:30

座長：杉山 希美(三重県立看護大学)

- P21-1e A市母子保健データにみる特定妊婦の特徴 第一報  
吉野 沙良 (大阪大学大学院)
- P21-2e A市母子保健データにみる特定妊婦の特徴 第二報  
眞栄里 彩笑 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
- P21-3e 経済的困窮状態にある世帯の子どもに対する保健師活動の位置づけと課題:レビュー  
喜多 歳子 (日本赤十字看護大学)
- P21-4e 児童虐待予防活動における保健師の援助関係構築実践尺度の開発:パイロット調査  
横堀 花佳 (東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻  
地域看護学・公衆衛生看護学分野)
- P21-5e 児童虐待に関わる市町村保健師の実践活動に関する文献レビュー  
赤堀 八重子 (高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科)
- P21-6e 妊娠期における産後うつ病予防を目的とした教育に関する文献検討  
武井 勇介 (山梨大学大学院総合研究部)



## 第22群 親子保健・福祉6

1月5日（日）14:40～15:40

座長： 岩本 里織（神戸市看護大学）

P22-1h 西日本地域における市町村産後ケア事業の提供状況の実態についての記述研究  
池田 有梨奈（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野）

P22-2h 乳幼児の母親のセルフケア能力の実態  
中村 千秋（唐津市役所）

P22-3h 3歳児を持つ母親の月経前症状による日常生活支障の有無にマインドフルネスが与える影響  
前川 藍子（株式会社ドクタートラスト）

P22-4h 女性のダブルケアにおける継続要因  
堀 亜由美（福岡市東区保健福祉センター 地域保健福祉課）

P22-5h 保健師が乳幼児を養育する親から受けた Work Family Balance(WFB)に関する相談内容  
下田 優子（京都橘大学）

P22-6h 転居がおよぼす影響に関する文献検討：親子保健に着目して  
永井 智子（目白大学看護学部）

## 第23群 人材育成・キャリア支援6

1月5日（日）10:50～11:50

座長： 安田 貴恵子（長野県看護大学）

P23-1f 新任期行政保健師の職業的アイデンティティと乳幼児健診事業の検討  
木谷 明代（京都府立医科大学大学院保健看護学研究科）

P23-2f プリセプターによる新任期保健師の家庭訪問に対する教育の実践内容  
山下 千絵子（北海道科学大学）

P23-3f 新任期保健師のための佐賀県保健師活動マニュアルの作成  
（第1報）～マニュアル作成のプロセス～  
西 恵子（佐賀県佐賀中部保健福祉事務所企画経営課）

P23-4f 新任期保健師のための佐賀県保健師活動マニュアルの作成  
（第2報）～マニュアル作成に関する保健師の認識～  
松尾 充晃（佐賀県佐賀中部保健福祉事務所企画経営課）

P23-5f コロナ禍における市町村新任期保健師の家庭訪問の経験とその関連要因  
岡田 みどり（神戸大学大学院保健学研究科）

P23-6f 現場と大学の共同による保健師の個別支援力アップにむけた記録の振り返り：  
母子事例の記録の課題と対策について  
吉田 未和（葛飾区健康部青戸保健センター）

## 第24群 人材育成・キャリア支援7

1月5日（日）13:30～14:30

座長：岸 恵美子（東邦大学大学院）

### P24-1g 行政保健師の個別支援におけるアセスメントに関する文献レビュー

泰地 可南子（慶應義塾大学看護医療学部）

### P24-2g 職場内事例検討会の取り組み

～実施後の聞き取り調査からみえてきた課題～

土井 奏絵（大阪市住之江区保健福祉センター）

### P24-3g 予約なしでの相談初回面接における保健師の支援技術

三好 諒（聖路加国際大学大学院 看護学研究科）

### P24-4g 31年継続している保健師による自主検討会「PP会」での活動についての考察（第1報）：設立経緯と活動概要

山本 裕美（日野市高齢福祉課）

### P24-5g 31年継続している保健師による自主検討会「PP会」での活動についての考察（第2報）：大規模な健康危機発生時の活動内容から

田部 晃佑（PP会）

### P24-6g 能登半島地震における保健師応援派遣活動を振り返って

—支援活動の経験からの気づきと専門的能力の獲得に与える影響—

吉井 絢子（兵庫県保健医療部健康増進課）

## 第25群 成人保健・福祉1

1月5日（日）9:30～10:30

座長：尾崎 伊都子（名古屋市立大学大学院）

### P25-1e 無職の若者と中高年者の社会的孤立値から予測したレジリエンス値の比較 ～若者と中高年者の社会的孤立の回帰式を基に～

岩上 詩音（富山県立大学看護学専攻科公衆衛生看護学専攻）

### P25-2e 無職の成人における社会的孤立とレジリエンスの関係（第1報） ～経済状態、就労経験等がレジリエンスに与える影響の検討～

若月 美歩（富山県立大学看護学専攻科公衆衛生看護学専攻）

### P25-3e 無職の成人における社会的孤立とレジリエンスの関係（第2報） ～家族や友人、周囲との双方向な関係性の影響とその対策～

伊藤 若菜（富山県立大学看護学専攻科公衆衛生看護学専攻）

### P25-4e 無職の成人を対象としたひきこもりとひきこもり親和性の関連 ～ひきこもり親和性尺度を活用した介入方法の検討～

笹森 栞（富山県立大学看護学専攻科公衆衛生看護学専攻）

### P25-5e 30、40代にがんの診断を受けて退職・再就職したがんサバイバーが 自分らしい働き方を再構築していく経験

田坂 悠妃（大阪大学大学院）

P25-6e 看護職による就労者の生活習慣病発症・重症化予防のための  
地域・職域連携に関する文献レビュー  
久保野 裕子（新潟県立看護大学）

## 第26群 産業保健

1月5日（日）14:40～15:40

座長： 斎藤 照代（国際医療福祉大学）

P26-1h 朝食の摂取頻度と特定保健指導レベルの改善有無との関連  
矢澤 真代（全国健康保険協会福井支部）

P26-2h 在宅勤務導入以降の食事の変化とメタボリックシンドロームとの関連  
筒井 久美子（富士通株式会社 健康推進本部健康事業推進統括部健康支援室）

P26-3h 働き世代におけるロコモティブシンドロームについての認識  
—A社での質問紙調査より—  
中西 唯公（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科）

P26-4h 労働者のSense of coherenceおよび組織文化特性が抑うつに与える効果  
石川 祥子（鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻 地域包括看護学講座）

P26-5h 乳幼児をもつ就労女性のワーク・エンゲイジメントと組織・仕事の資源との関連  
竹口 和江（長崎県立大学看護栄養学部）

P26-6h 産業看護職向けパンデミックシナリオトレーニングの開発と実装  
吉川 悦子（日本赤十字看護大学）

## 第27群 高齢者保健・福祉1

1月5日（日）10:50～11:30

座長： 斎藤 恵美子（東京都立大学）

P27-1f 高齢者を介護する家族のインフォーマルサポートを受けている自覚と  
介護負担感との関連  
花谷 実歩（岡山県立大学大学院保健福祉学研究科看護学専攻  
（現 尾道市役所福祉保健部健康推進課）

P27-2f 介護付有料老人ホームに従事する介護職員の認知症者の看取りケアに関する認識  
鈴木 美代子（介護付き有料老人ホーム 恵信ヴィレッタ甲府）

P27-3f 難病患者における心理過程の一考察  
—筋萎縮性側索硬化症患者の心理過程に焦点をあてて—  
松元 悦子（山口県立大学 看護栄養学部 看護学科）

P27-4f 新型コロナ終息後に取り組んだ難病対策の再構築  
佐藤 きえ子（宮城県北部保健福祉事務所栗原地域事務所（大崎保健所栗原支所）

## 第28群 国際保健

1月5日（日）13:30～14:10

座長：水谷 真由美（名古屋大学大学院）

P28-1g 空間スキャン検定とGISによる枯葉剤散布と低体重児発生の関連性の検出

板谷 智也（宮崎大学医学部看護学科）

P28-2g 全国保健所長会「グローバル化時代における保健所の機能強化と国際社会への貢献に関する研究班」における取り組みについて

須藤 章（兵庫県伊丹健康福祉事務所）

P28-3g 妊娠・育児期の日常会話が可能な在日外国人母親における社会的孤立に関する要因：質的記述的研究

森 志桜里（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

P28-4g 在留外国人高齢者の医慮・介護のニーズや困難感に関する研究の動向についての文献検討

知念 真樹（沖縄県立看護大学）

## 第29群 高齢者保健・福祉2

1月5日（日）9:30～10:30

座長：尾形 由起子（福岡県立大学）

P29-1e シニア向けオンライン運動プログラムの社会実装に向けた教室立ち上げ支援の取り組みの報告—SOFTプロジェクト—

大西 真衣（公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所）

P29-2e 地域在住高齢者を対象としたフレイル予防の社会活動の効果に関するシステムティックレビュー：1次スクリーニング結果の概観

深川 周平（札幌医科大学保健医療学部）

P29-3e 山間地域のいきいき百歳体操自主グループの活動継続に関連する要因

吉田 典子（兵庫県宍粟市健康福祉部）

P29-4e A町の短期集中型介護予防事業の精神面への効果

中里 早苗（岩手県軽米町）

P29-5e シニア大学におけるフレイル予防プログラムの学習効果と行動変容

根岸 貴子（東京家政大学）

P29-6e A地域在住高齢者のオーラルフレイルの現状  
～通いの場参加者へのセルフチェック表による調査から～

久米 海輝（宮崎県立看護大学大学院）

## 第30群 感染症保健・福祉2

1月5日（日）14:40～15:40

座長：肥田 佳美（椋山女学園大学）

P30-1h 新型コロナウイルス感染症対応から得た教訓を活かした今後に向けた取組(第1報)  
保健師の人材育成

森岡 美香（神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター）

P30-2h 新型コロナウイルス感染症対応から得た教訓を活かした今後に向けた取組(第2報)  
全所体制

中井 綾（神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター）

P30-3h 新型コロナウイルス感染症対策において保健所の統括保健師が果たした役割  
(第1報)—業務マネジメントの実際—

北山 明子（北海道北見保健所）

P30-4h 新型コロナウイルス感染症対策において保健所の統括保健師が果たした役割  
(第2報)—モチベーションを保つこころのマネジメント—

塩川 幸子（旭川医科大学医学部看護学科）

P30-5h 研修会「あの時を振り返る—新型コロナウイルス感染症の最前線。埼玉県保健師と  
しての日々—」を実施して

～リフレクションから得られた県保健師の役割理解とその意義～

澁川 悦子（埼玉県職員保健師協議会保健師技術を紡ぐ会，埼玉県東松山保健所）

P30-6h 島嶼地域における感染症対策の構築・運用  
保健所保健師の新型コロナウイルス感染症対策の経験から

當山 裕子（琉球大学）

## 第31群 公衆衛生看護管理

1月5日（日）10:50～11:50

座長：三輪 眞知子（聖隷クリストファー大学）

P31-1f 継続支援の維持向上を目指した母子保健活動におけるDX 推進の取組について  
～データ分析を可能とするシステム構築～

小島 慶子（練馬区健康推進課）

P31-2f 大阪市保健師活動DX推進の取組み

蒲田 脩圭里（大阪市，健康局健康推進部健康施策課）

P31-3f 市町村統括保健師の役割遂行のプロセスとその活動に影響を与える要因  
—複線径路等至性モデリングによる分析—

竜田 登代美（東京医療保健大学和歌山看護学部）

P31-4f 中堅期にある市町村保健師の心理的安全性と保健師に関する職場環境との関連

山口 千里（愛知医科大学大学院看護学研究科地域看護学領域）

P31-5f 公衆衛生看護技術の基盤となる理念の構造化と位置づけ

大木 幸子（杏林大学）

- P31-6f 新型コロナウイルス禍において市町村保健師が行った保健活動の実態と抱えた葛藤  
—フォーカス・グループ・インタビューを用いて—  
相良 裕美 (多摩市健康福祉部障害福祉課発達支援室)

### 第32群 災害支援・減災/防災2

1月5日(日) 13:30~14:30

座長: 日高 橘子(中京学院大学)

- P32-1g 令和6年7月25日からの山形県の大雨災害に係る一次避難所への災害支援の  
取り組み  
松田 友美 (山形大学大学院医学系研究科看護学専攻在宅看護学分野)
- P32-2g 令和6年能登半島地震での1.5次避難所におけるケア情報共有の取り組み  
宮川 祥子 (慶應義塾大学, (一社)情報支援レスキュー隊(IT DART))
- P32-3g 保健師災害派遣の取組について  
平野 沙也加 (八尾市保健所)
- P32-4g 応援派遣保健師に求められるコンピテンシーの検討 —文献検討とインタビューから—  
岩本 萌 (東北大学大学院医学系研究科)
- P32-5g 在宅被災者の健康支援のためのアセスメント項目の検討  
相馬 幸恵 (新潟県福祉保健部)
- P32-6g 2024年度能登半島地震に派遣された新任期と管理期保健師が経験した  
ストレス内容の違い  
西部 奏 (富山県立大学看護学専攻科公衆衛生看護学専攻)

### 第33群 人材育成・キャリア支援8

1月5日(日) 9:30~10:30

座長: 佐伯 和子(富山県立大学)

- P33-1e 茨城県職保健師の日頃の活動への思いの特徴~2017年調査との比較から~  
東野 綺寧 (茨城県保健医療部疾病対策課)
- P33-2e 茨城県市町村中堅期II保健師のキャリアラダー専門能力2023  
~ジョブローテーションに着目して~  
齊藤 育子 (桜川市健康推進課)
- P33-3e A県職および市町村保健師の個人・家族への支援ラダーと日頃の活動への思いとの  
関連—2017年度と2022年度との比較から—  
長澤 ゆかり (国際医療福祉大学成田看護学部)
- P33-4e 特定町村と保健所が取り組む地域保健活動推進事業-活動報告-  
夏目 恵子 (愛知県新城保健所健康支援課)
- P33-5e 市町村保健師のケアシステムの構築におけるキャリアラダー向上への一考察  
中島 富志子 (東都大学ヒューマンケア学部)

P33-6e 高知県内市町村における保健師確保の現状と課題

沖本 幸 (高知県土佐清水市健康推進課)

**第34群 災害支援・減災/防災3**

1月5日(日) 14:40~15:30

座長: 高橋 香子 (福島県立医科大学)

P34-1h 4か月児をもつ母親の災害の備えの実態と関連要因

佐藤 陽和 (羽曳野市役所)

P34-2h 被災が少ない地域に居住する子育て世代の災害の受け止め方

小林 満理奈 (寒河江市役所)

P34-3h 高齢者がもつ避難所に対するイメージと避難行動意思との関連

山本 紗佑里 (岡山県立大学大学院保健福祉学研究科看護学専攻  
(現 倉敷市役所 水島保健福祉センター水島保健推進室))

P34-4h 災害時の高齢者の避難行動に関連する要因

中筋 光希 (元武庫川女子大学大学院看護学研究科修士課程)

P34-5h 地区防災関係住民との協働による「まちの減災ナース育成研修」2年後の評価  
- 研修企画・実施に参画した地区防災関係住民へのインタビュー調査結果 -

村上 祐里香 (山口大学大学院医学系研究科保健学専攻)

**第35群 成人保健・福祉2**

1月5日(日) 10:50~11:50

座長: 清水 美代子 (日本赤十字豊田看護大学)

P35-1f 自己管理に取り組む2型糖尿病男性患者の家族が行う支援と家族の負担感  
- 質的文献レビュー -

桐原 千宙 (宮崎県立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程)

P35-2f 情報通信技術を用いた減量のための継続的行動変容介入の効果に関する  
系統的レビュー

和泉 比佐子 (神戸大学大学院保健学研究科)

P35-3f 離島における漁業従事者の健診受診の実態

竹鼻 美結 (洲本市役所 健康福祉部 健康増進課)

P35-4f A町における乳幼児を持つ父親の生活習慣とソーシャルサポートの実態

太田 涼介 (宮崎県立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程)

P35-5f 市町村国民健康保険の特定健康診査を40・50歳代の被保険者が継続受診する理由

松岡 菜摘 (神戸大学大学院保健学研究科)

P35-6f 保健指導介入者の特徴と生活習慣病ハイリスク者への指導効果との関連:  
クラスターランダム化比較試験 J-HARP研究のサブ解析

野口 緑 (大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学)

### 第36群 健康づくり・健康増進活動3

1月5日（日）13:30～14:30

座長： 和泉 比佐子（神戸大学大学院）

#### P36-1g 特定健診～ほんの少しの見直しで受診勧奨効果は高まる！

佐々木 龍 （札幌市北保健センター 健康・子ども課）

#### P36-2g 中小企業における職場環境づくりを併用したICT減量支援プログラムの効果 —非ランダム化比較試験—

尾崎 伊都子 （名古屋市立大学大学院看護学研究科）

#### P36-3g 中小企業における職場環境づくり支援プログラムの効果の検討

西嶋 真理子 （愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻）

#### P36-4g 中小規模事業所に所属するトラックドライバーのがん検診受診状況

山崎 恭子 （帝京大学医療技術学部看護学科）

#### P36-5g 無症候性椎体骨折発生は地域在住中高年女性の健康関連QOL(HRQOL)を下げるか —Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS)コホート研究—

上坂 真弓 （愛知医科大学 看護学部 臨床実践看護学, 名古屋大学大学院医学系研究科  
看護学専攻 基礎・臨床看護学 博士後期課程）

#### P36-6g 高齢者の口腔ステータス向上を目指したヘルスリテラシー教育の実践と評価 ～IOTを活用した歯みがき行動に着目して～

松尾 里香 （佐賀大学医学部看護学科）

### 第37群 精神保健・福祉3

1月5日（日）9:30～10:30

座長： 松本 華子（愛知県春日井保健所）

#### P37-1e 統合失調症患者の家族の困難とその支援に関する文献検討

河合 明歩 （前香川大学医学部看護学科）

#### P37-2e 精神障害者の個別支援において保健師が捉える連携へのおもい ～A県内県型保健所・市町村間に焦点を当てて～

堀 翔吾 （宮崎県立看護大学大学院 看護学研究科 博士前期課程）

#### P37-3e 精神科病院の閉鎖に伴う長期入院患者の処遇とその合意形成についての家族の認識

長澤 寮 （新潟大学医学部保健学科）

#### P37-4e 農福連携に取り組む農業等事業者の障がい者観とその変化

大島 珠子 （国際医療福祉大学）

#### P37-5e 精神障がいのある人の恋愛・結婚に向けた「あいりき」プログラムのオンライン版の 展開:当事者ファシリテーターとのコプロダクション

日下 桃子 （湘南医療大学保健医療学部看護学科）

#### P37-6e 精神疾患のある女性が子どもをつくるかどうかを意思決定するプロセス

蔭山 正子 （大阪大学高等共創研究院）



### 第38群 地域づくり・ソーシャルキャピタル3

1月5日（日）14:40～15:40  
座長：森 礼子（日本福祉大学）

- P38-1h 大規模住宅団地への転居高齢者の実態と課題  
聲高 英代（大阪歯科大学看護学部）
- P38-2h 大規模住宅団地への転居高齢者における主観的幸福感に関連する要因  
東田 仁美（しょうとく\*まちかどステーション）
- P38-3h A町高齢者サロン参加者のフレイルと社会資源へのアクセス・ソーシャルキャピタルの実態  
西浦 聖美（宮崎県立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程）
- P38-4h 都市部に在住する向老期世代の“地域への愛着”とその関連要因  
中山 莉奈（神戸大学大学院保健学研究科）
- P38-5h 地域への愛着概念における要因構造分析～共分散構造分析を用いて～  
井上 直子（埼玉医科大学）
- P38-6h 急性期病院における高齢患者のせん妄・認知症ケアへの住民ボランティア参画の  
ケアプログラム開発:パイロットスタディ  
長谷川 美智子（公益社団法人 京都保健会 京都民医連中央病院）

### 第39群 高齢者保健・福祉3

1月5日（日）10:50～11:50  
座長：表 志津子（金沢大学）

- P39-1f 地域におけるラジオ体操会が高齢者の健康へ与える影響に関する文献検討  
杉山 綾菜（中部大学）
- P39-2f 定年退職後に地域活動を経験している前期高齢者の社会参加活動の特徴  
中村 莉子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）
- P39-3f 地域包括支援センターの看護職が行う介護予防活動の課題に関する質的分析  
辻川 史恵（新潟医療福祉大学）
- P39-4f 都市郊外居住高齢者の外出手段に対する不安とその関連要因  
古川 日菜（岸和田市役所）
- P39-5f 中山間地域在住高齢者の外出頻度の減少と社会的孤立およびアパシーとの関連検討  
高部 さやか（浜松医科大学）
- P39-6f 「住まいと健康・福祉」に関する情報発信と相談体制構築に関するインタビュー調査  
麻生 保子（和洋女子大学）

## 第40群 感染症保健・福祉3

1月5日（日）13:30～14:30

座長： 谷出 早由美（鈴鹿医療科学大学）

- P40-1g 外国生まれの結核患者の保健師による服薬支援  
今福 彩 （大阪市淀川区保健福祉センター）
- 
- P40-2g 外国出生肺結核患者の発病予防・早期発見・治療継続に向けた支援のあり方  
石原 沙津季 （大分県北部保健所 地域保健課）
- 
- P40-3g 治療期間中である外国出生結核患者の受診および服薬を妨げる要因に関する文献検討  
岡澤 皓子 （自治医科大学大学院看護学研究科博士前期課程）
- 
- P40-4g 結核高蔓延国から入国した中学生結核患者の接触者健診等実施に関する報告  
～学校等と連携した取組みを通しての課題を考える～  
畑中 公子 （加東健康福祉事務所）
- 
- P40-5g HIV・性感染症予防のためのA市内高校生への出前授業  
佐伯 美冴 （寝屋川市保健所保健予防課）
- 
- P40-6g 京都市の効果的な梅毒対策の検討—医療機関アンケートより—  
多田 碧樹 （京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課）

## 口 演

- O-01 出生前検査の情報提供の実態調査—行政機関の看護職を対象に—  
納富 理絵 （秋田大学医学部附属病院）
- 
- O-02 「気になる子」を育てる保護者への関わり方に関する文献レビュー  
—乳幼児期にある「気になる子」を早期に適切な機関・支援へ繋ぐために—  
長谷川 真葉 （札幌医科大学専攻科公衆衛生看護学専攻）
- 
- O-03 妊婦を支援する訪問看護ステーションの現状と課題—インタビュー調査—  
山田 寛子 （聖路加国際大学大学院看護学研究科）
- 
- O-04 首都圏内—自治体の母親の乳幼児期の育児不安の推移(第1報)  
山本 三希子 （東京医療保健大学千葉看護学部）
- 
- O-05 母子保健分野での精神的支援に関するシンポジウム開催により検討した多職種連携  
山下 瑞木 （福岡県看護協会）
- 
- O-06 母親のスマホ利用状況と愛着・養育・虐待疑い行動との関連  
田村 晴香 （名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻看護学コース博士後期課程）
- 
- O-07 育児中の母親のヘルスリテラシーについての文献レビュー  
縞谷 絵理 （東京都立大学大学院）

0-08	学校における生活困窮世帯の児童・生徒への支援 —保健師に求められる役割の検討— 久保木 紀子 (横浜創英大学看護学部)
0-09	メンタルヘルスの不調を抱える母親と共に子どもを育てる父親の体験 内村 二三代 (板橋区高島平健康福祉センター)
0-10	地域の小学校における学校看護師の医療的ケアと連携および職務満足感の実態 関 睦美 (新潟県立看護大学)
0-11	高専生と共同開発したコミュニケーションを学習するデバイス(ふたりんごと) 高橋 佐和子 (神奈川県立保健福祉大学)
0-12	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 -学校等事故事例検索データベースを用いた分析- 関 美雪 (埼玉県立大学)
0-13	小学校担任教諭におけるワーク・エンゲイジメントと仕事時間との関連 菊池 宏 (埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科, 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士後期課程)
0-14	若年性認知症と診断された従業員の就労及び支援体制の実態 高橋 裕太郎 (金沢大学医薬保健域研究域保健学系)
0-15	行政保健師のワーク・エンゲイジメントと職業性ストレスとの関係 中田 由紀子 (長門市役所健康福祉部健康増進課健康推進班)
0-16	産業保健師の仕事と介護の両立支援に関する一考察 ～中堅期保健師1事例からの検討～ 田邊 綾子 (宮崎大学)
0-17	A社における40歳未満を対象者とした減量に対する保健指導の実践報告 深井 里帆 (医療法人社団東京桜十字 保健サービス運営部医療推進課, 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科)
0-18	減酒の保健指導を要する20-30代就労女性のビンジ飲酒に関する研究 —行動意図に影響する行動感情と信念 佐竹 弘樹 (サントリーホールディングス株式会社)
0-19	就労している境界型糖尿病の壮年期女性が生活習慣の改善に向かっていく体験 河原 茉莉乃
0-20	(欠番)
0-21	妊娠糖尿病既往者に対する新たな支援「健やかママの健康チェック事業」 構築の効果に関する検討 笠井 幸 (大阪市健康局健康推進部健康づくり課)
0-22	30歳代男性の生活習慣病予防のための健康学習を促す学習教材の精錬 鈴木 悟子 (富山大学学術研究部医学系(地域看護学))

0-23	大学生のアドバンス・ケア・プランニングの現状と関連要因 西崎 未和 (共立女子大学)
0-24	地方農村部シルバー人材センター会員が抱える物忘れ・認知症に対する将来の心配の有無とその関連要因 米澤 洋美 (石川県立看護大学看護学部)
0-25	地域包括支援センターの三職種及び市町村主管部門保健師の視点からみた地域包括支援センター保健師の地域づくりに必要なコンピテンシー 田中 裕子 (北海道大学大学院)
0-26	住民主体の介護予防体操教室に6年間継続参加する高齢者の身体機能 小坂橋 恵美子 (東邦大学健康科学部看護学科)
0-27	(演題取り下げ)
0-28	都市部在住の定年退職後の独居男性高齢者が地域とのつながりをつくる体験—サロン活動への参加を通して— 朝夷 七海
0-29	東京都特別区23区の認知症ケアパスに関する内容調査 千葉 朱里 (宮城大学看護学群看護学類)
0-30	介護DBを使用したパーキンソン病関連疾患患者の居住形態と日常生活・医療処置状況の評価 藤田 貴子 (九州大学大学院医学研究院保健学部門)
0-31	就労継続支援B型事業所が感じている健康管理における困難や課題 河野 朋美 (宮崎県立看護大学大学院)
0-32	医療的ケア児(者)及び家族に対する看護実践の現状と課題:文献検討 松浦 めぐみ (千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程, 千葉県立保健医療大学)
0-33	国内文献からみる医療的ケア児に対する保健師の支援 小坂 素子 (神戸女子大学)
0-34	精神障がい者の被受容感と就労継続の関連 相澤 麗奈 (美咲町)
0-35	精神疾患を有する女性が母親になる体験 本郷 あかり
0-36	東京都多摩府中保健所における措置入院者退院後支援の取組 大塚 友紀子 (東京都多摩府中保健所)
0-37	関係機関を巻き込んだ、外国出生の結核患者への包括的な支援 渡邊 美紀 (豊橋市, 健康部 保健医療企画課)
0-38	若手保健師が感じたCOVID-19感染者の人権に配慮した保健師活動 富田 早苗 (川崎医療福祉大学)

O-39	管内高齢者施設で発生したCOVID-19集団感染の特徴に関する分析 鶴田 華恋 (佐賀県唐津保健福祉事務所)
O-40	外国出生結核患者の結核診断によって生じるQOLの変化と回復プロセス -外国出生労働者に焦点を当てて- 座間 智子 (公益財団法人結核予防会 結核研究所)
O-41	今後のパンデミックを想定した市町村の感染症に対する準備状況 鳩野 洋子 (九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野)
O-42	北海道における暑熱環境下の避難所を想定した非常食に関する調査研究 鬼塚 美玲 (札幌市立大学看護学部)
O-43	災害時保健活動に関する自治体保健師への支援-環境衛生管理の課題と対策から- 全国保健師長会災害時保健活動特別委員会の取り組み 齊藤 和美 (大阪市平野区保健福祉センター)
O-44	災害発生後のCommunity health workerの活動に関する文献レビュー 松永 篤志 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野)
O-45	精神保健上の課題を抱える者へ向けた地域関係者と取組む防災対策 -災害弱者となり得る者の困難性とは- 丸岡 綾子 (東京都保健医療局 東京都多摩府中保健所)
O-46	東日本大震災後に移住した被災高齢者に対する支援のあり方の検討 ～住民主体によるサロン活動支援事例を中心に～ 小野寺 悦子 (宮城大学)
O-47	地域の災害対応力の強化に向けた高齢者施設における災害対策課題の検討 和辻 雄仁 (京都府山城北保健所)
O-48	地域BCPに向けた意識の醸成における研修実施効果 ～自治体と介護事業者と地域の連携のための実践～ 早川 小まり (岡崎市福祉部ふくし相談課)
O-49	高齢者支援に取り組む住民ボランティアの研修受講と支援の関連 —認知症の理解と対応に焦点をあてて— 蒔田 寛子 (豊橋創造大学)
O-50	地元の関係機関が連携して築く『まちの保健室』 吹野 信浩 (鳥取看護大学看護学部看護学科)
O-51	災害救急医療にかかる初動連絡訓練を通じた地域づくり ～PDCAに基づくEMIS入力訓練等の取組報告～ 内海 今日子 (龍野健康福祉事務所)
O-52	都市部に居住する住民の互助に関する意識 井口 理 (日本赤十字看護大学)
O-53	糖尿病予防教室終了者の健康行動継続における内的様相 上田 愛 (東都大学沼津ヒューマンケア学部看護学科)

O-54	事業所における健康経営に対する意識と取り組みの実態 辻 和真 (和歌山県 田辺保健所)
O-55	行政保健師によるプレコンセプションケアの取り組み:看護学生へのHPVワクチン啓発を通じて 村上 理奈 (渋谷区役所)
O-56	保健師基礎教育における「予算管理」演習の学習成果 —保健師学生及び新任期保健師の立場からの考察— 藤井 智子 (旭川医科大学医学部看護学科)
O-57	保健師基礎教育における歯科保健教育の現状と課題に関する文献検討 坂東 志乃 (宮城大学)
O-58	保健師の職場内教育(OJT)としての事例検討会を推進するためのガイドブックの有効性の検証:量的データを用いて 佐藤 太一 (千葉大学国際高等研究基幹)
O-59	保健師として就業している卒業生のネットワーク構築をめざしたキャリア支援の実践 柴田 亜希 (埼玉県立大学)
O-60	事例検討会を通しての保健師の学びに関する研究 宮本 保志花 (香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科)
O-61	地域・在宅看護論の臨地実習における学生の学びとその促進・阻害要因: 質的研究の文献検討 朝見 優子 (三育学院大学看護学部, 東京科学大学大学院保健衛生学研究科博士課程)
O-62	国立看護系大学保健師養成課程における感染症教育に関するシラバス分析 中堀 伸枝 (富山県立大学地域看護学講座)
O-63	委託型地域包括支援センター看護職による現任教育の取組と専門職研修ニーズの実態 楠 夏姫 (安田女子大学)
O-64	病院に勤務する20歳代看護要員の時間外労働の認識・特性について 中島 由佳 (熱川温泉病院)
O-65	病院及びクリニック勤務看護師のハラスメント実態と離職、Well-beingとの 関連性に関する調査研究 菊岡 正芳 (日本経済大学大学院 ファーマシーマネジメント研究所)
O-66	行政保健師における働きがいに繋がる要因の横断的調査 田中 克弥 (相模女子大学大学院社会起業研究科専門職学位課程, (現所属 浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程))
O-67	地域保健活動の推進につながる統括保健師間ネットワーク ～ネットワークの構築・維持・発展の要因と構造 富岡 順子 (神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター, 全国保健師長会)
O-68	公衆衛生看護におけるエビデンスに基づく事業化/施策化実践モデル試案の作成 岡本 玲子 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

- 
- O-69 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)まん延期における面会制限に関する特別養護老人ホームと入居者家族とのリスクコミュニケーションと行政からの支援  
小稲 文 (国際医療福祉大学)
- 
- O-70 母子健康手帳アプリを活用したライフコースデータベースの構築  
芳我 ちより (香川大学)
- 
- O-71 「ことば」の問題を抱えている外国人母子の支援について  
木寺 香織 (西成区役所保健福祉課)
- 
- O-72 外国人看護師への生活習慣病予防指導技術支援活動  
—モンゴルの看護技術指導担当看護師への支援活動—  
山下 恵 (ウランバートル市スフバートル区保健センター)
- 
- O-73 子どもに関わる職員を対象とした小児一次救命処置講習の評価  
藤田 千春 (杏林大学保健学部看護学科看護養護教育学専攻)
- 
- O-74 子どもに関わる職員を対象とした小児一次救命処置講習後の意識調査  
場家 美沙紀 (杏林大学保健学部看護学科)
-

## 後援・協賛企業 / 団体 ご芳名一覧 (順不同・敬称略)

### 後援

厚生労働省  
文部科学省  
愛知県  
名古屋市  
愛知県市長会  
愛知県町村会  
公益社団法人日本看護協会  
公益社団法人愛知県看護協会  
一般財団法人日本公衆衛生協会  
全国保健所長会  
全国保健師長会  
全国保健師長会愛知県支部  
一般社団法人全国保健師教育機関協議会  
一般社団法人日本産業保健師会  
愛知県保健師会  
愛知県市町村保健師協議会  
公益社団法人愛知県医師会  
一般社団法人愛知県歯科医師会  
一般社団法人愛知県薬剤師会  
一般社団法人名古屋市医師会  
一般社団法人名古屋市歯科医師会  
一般社団法人名古屋市薬剤師会  
愛知医科大学

### 助成

公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団  
一般財団法人愛知医科大学愛恵会  
公益社団法人愛知県看護協会  
公益財団法人大幸財団

### 協力

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード  
株式会社カインズ くみまち防災プロジェクト  
松吉医科器械株式会社

### 共催ランチョンセミナー

大塚製薬株式会社  
ニュートラシューティカルズ事業部  
一般社団法人日本セルフケア推進協議会

### ポケットプログラム広告

株式会社インターネットイニシアティブ  
日本メナード化粧品株式会社中部支社  
株式会社エバホームケアサービス  
株式会社医学書院  
イーザイ株式会社  
興和株式会社  
有限会社社会保険実務研究所

### バナー広告・幕間広告

株式会社インターネットイニシアティブ  
国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
株式会社東京法規出版

### 展示

marubun & Co.株式会社  
株式会社VIP グローバル  
株式会社メルシー  
大塚製薬株式会社  
ニュートラシューティカルズ事業部  
いわさきグループ  
パナソニック株式会社空質空調社  
ヤマト  
株式会社MAREM  
有限会社宝石のエンジェル  
聖路加国際大学大学院  
東洋羽毛東海販売株式会社  
株式会社インターメディカル  
特定非営利活動法人あおいろノソラ  
— たっくんプロジェクト  
公益社団法人認知症の人と家族の会愛知県支部  
株式会社ユピア

### 寄付

公益社団法人愛知県医師会  
一般社団法人愛知県歯科医師会  
一般社団法人愛知県薬剤師会  
一般社団法人名古屋市医師会  
第一生命保険株式会社名古屋東支社

学術集会の開催にあたりましては、以上の皆様より多大なるご支援を賜りました。  
謹んで御礼申し上げます。

### 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会

学術集会会長 坂本 真理子 (愛知医科大学看護学部)  
学術集会副会長 岡本 理恵 (名古屋市/全国保健師長会)



# 企画委員・実行委員一覧

(五十音順)

## 学術集会長

坂本 真理子

愛知医科大学

## 学術集会副会長

岡本 理恵

名古屋市／全国保健師長会

## 企画委員

青柳 美樹

愛知県立大学

青山 政美

岡崎市

荒川 緑

名古屋市

有川 かがり

愛知県

石黒 美佳子

蒲郡市

加藤 寿子

豊橋市

門間 晶子

名古屋市立大学

佐藤 かおり

名古屋市

塩之谷 真弓

元中部大学

出口 さとみ

愛知県

長沼 裕子

名古屋市

野口 弘美

小牧市

古田 加代子

愛知県立大学

蒔田 寛子

豊橋創造大学

水谷 聖子

日本福祉大学

柳澤 理子

愛知県立大学

若杉 里実

愛知医科大学

## 事務局

佐々木 裕子

愛知医科大学

浅野 いずみ

愛知医科大学

二村 純子

愛知医科大学

実行委員

伊神 智代	名古屋市	浅野 しほ	CCNet 株式会社
磯部 多恵	名古屋市	上里 佳那子	森永産婦人科
伊藤 和子	名古屋市	伊藤 裕子	愛知県立大学
内山 郁子	名古屋市	横山 加奈	愛知県立大学
江崎 道代	名古屋市	青山 京子	修文大学
大島 亜友美	名古屋市	肥田 佳美	椙山女学園大学
奥村 陽介	名古屋市	安孫子 尚子	聖泉大学
小崎 真弓	名古屋市	宮武 真生子	中部大学
加藤 寿子	名古屋市	世古 留美	藤田医科大学
倉知 恭子	名古屋市	清水 美代子	日本赤十字豊田看護大学
黒川 晴香	名古屋市	尾関 唯未	日本福祉大学
黒田 あい	名古屋市	高松 三沙子	日本福祉大学
佐々木 直子	名古屋市	野中 光代	日本福祉大学
鈴木 愛	名古屋市	南 千晴	日本福祉大学
鈴木 朋子	名古屋市	森 礼子	日本福祉大学
庄田 佳子	名古屋市	大矢 正寛	名古屋医専
柘植 圭	名古屋市	尾崎 伊都子	名古屋市立大学
平良 陽子	名古屋市	佐藤 綾野	名古屋女子大学
眞下 紗菜	名古屋市	水谷 真由美	名古屋大学
増田 瑛	名古屋市	伊藤 寿英	愛知医科大学
森 郁子	名古屋市	伊藤 真規	愛知医科大学
山崎 信人	名古屋市	河井 丈幸	愛知医科大学
山田 昌美	名古屋市	黒澤 昌洋	愛知医科大学
山中 美奈	名古屋市	坂川 有希	愛知医科大学
立山 美子	一宮市	佐藤 ゆかり	愛知医科大学
近藤 亜有子	岡崎市	茂本 咲子	愛知医科大学
早川 小まり	岡崎市	篠田 かおる	愛知医科大学
山本 真由美	岡崎市	谷口 千枝	愛知医科大学
澤野 萌	小牧市	橋本 茜	愛知医科大学
加藤 友恵	瀬戸市	森 莉那	愛知医科大学
松葉 啓子	瀬戸市	山幡 朗子	愛知医科大学
山口 千里	瀬戸市	山本 弘江	愛知医科大学
山田 美奈子	瀬戸市		
伊東 銀次	設楽町		
原田 優子	東栄町		
美濃羽 冴子	東栄町		

次回開催についてのお知らせ

**第14回日本公衆衛生看護学会学術集会**  
**変革の時代に求められる公衆衛生看護を考える：**  
**健康危機を超えた未来へ**

会期 : 2025年12月13日（土）～14日（日）  
学術集会会長 : 表 志津子（金沢大学医薬保健研究域）  
学術集会副会長 : 西出 恵里（石川県/全国保健師長会）  
会場 : 石川県地場産業振興センター（石川県金沢市）

**第13回 日本公衆衛生看護学会学術集会 ポケットプログラム**

2024年12月発行

編集・発行

第13回日本公衆衛生看護学会学術集会 事務局

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1  
愛知医科大学

E-mail : [japhn13@aichi-med-u.ac.jp](mailto:japhn13@aichi-med-u.ac.jp)

第13回日本公衆衛生看護学会学術集会 運営事務局

〒456-0005 愛知県名古屋市熱田区池内町3-21  
株式会社ユピア

E-mail : [japhn13@yupia.net](mailto:japhn13@yupia.net)



hvc  
human health care



## 患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。  
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。  
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、  
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。  
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。  
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。  
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

高脂血症治療剤 薬価基準収載

### パルモディア XR錠 0.2mg / 0.4mg

PARMODIA® XR TABLETS 0.2mg・0.4mg (ペマフィブラート徐放錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

高脂血症治療剤 薬価基準収載

### パルモディア錠 0.1mg

PARMODIA® TABLETS 0.1mg (ペマフィブラート錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

選択的SGLT2阻害剤—2型糖尿病治療剤— 薬価基準収載

### デベルザ錠 20mg

DEBERZA® (トホグリフロジン水和物錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

アルツハイマー型認知症治療剤 薬価基準収載

### アリドネパッチ 27.5mg / 55mg

ALLYDONE® Patches (ドネペジル経皮吸収型製剤)

劇薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること  
製造販売元：帝國製薬株式会社、販売元：興和株式会社

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等  
情報」等については電子添文をご参照ください。

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)  
**興和株式会社**  
東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2024年10月作成

健康づくりを担う全ての方々必携の専門週刊誌

# 週刊保健衛生ニュース

昭和53年創刊、40年以上にわたって関係者に支持される実績と信頼性を誇ります！

保健・医療・福祉関係者相互のパイプ役として、健康づくりの第一線で活躍されている全国の保健師をはじめ、市町村等の医療保険者、研究機関、健診実施機関、学校・教育機関等の皆様に幅広いご支持をいただいている雑誌です。

国と地方自治体の健康づくりを中心に、日頃の業務に必要な細かな情報から制度改正など大きな流れまで、専門誌ならではの情報を幅広くフォローし、通知、資料、解説なども豊富に掲載した貴重な情報源として皆様のお役に立ちます。

★ホームページで最新号の目次をチェックできます！

## ご購入のお申し込み

ご購入のお申し込みは下記ホームページの「ご購入のお問合せ」にお名前、E-mailアドレス等をご入力の上、送信していただければお申込に必要なフォームをE-mailにて返信させていただきます。ホームページをご覧になれない場合は、FAXにてお申込用紙を送らせていただきます。E-mailかFAXでお問い合わせください。

ホームページ <https://www.shahojitumu.co.jp>

全国の市町村、保健所をはじめ実務担当者に幅広く読まれている専門誌です！

個人購読も可能です。ぜひ、日頃のお仕事にお役立て下さい！

年間購読料（令和7年度価格 / 送料・税込）

¥42,900-（後払・定価）

¥38,700-（前払・割引価格）

毎週月曜日発行 / B5判・40～64頁

※書店では販売しておりません。当社直販とさせていただきます。  
※ご購入は毎年自動更新とさせていただきます。  
ご購入の中止、お届け先の変更の際はご連絡をいただく必要があります。

## (有) 社会保険実務研究所

E-mail [info@shahojitumu.co.jp](mailto:info@shahojitumu.co.jp)

FAX 03-3253-7836

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-32 N Sビル6階

# 医学書院 関連書籍・雑誌のご案内

2次元バーコードコードから詳細がご覧いただけます。



雑誌

## 保健師ジャーナル のご案内

- ◆公衆衛生活動の現場で働く保健師に向けた、「保健師」と名の付く唯一の専門誌。
- ◆保健活動の現場において「いま」そして「これから」求められる情報や視点を、特集や連載など多様な構成でお届けします。
- ◆全ページカラーで見やすい資料や豊富な画像によって、ポイントやイメージをより分かりやすく紹介していきます。

●隔月刊(偶数月) 年6冊  
通常号定価：1,760円(本体1,600円+税10%)

保健活動でナッジに取り組みたい人は必読！  
その基本とポイントを実践事例とともに解説

## 保健活動で使える！ ナッジ

押さえておくべき基本と実践例

著：高橋 勇太  
村山 洋史  
竹林 正樹



●B5 2023年 頁112 定価：2,640円(本体2,400円+税10%)  
[ISBN978-4-260-05123-1]



特別ではなく、1人ひとりを大切にしたいあたり前のケアを

## LGBTQ+の 健康レポート

著：日高 庸晴

誰にとっても心地よい医療を実装するために

●A5 2024年 頁264 定価：2,860円(本体2,600円+税10%)  
[ISBN978-4-260-05616-8]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>  
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp





いのちのともしびを絶やさない

**GIVE  
IS TO BE  
GIVEN**

**EBA**  
HOMECARE





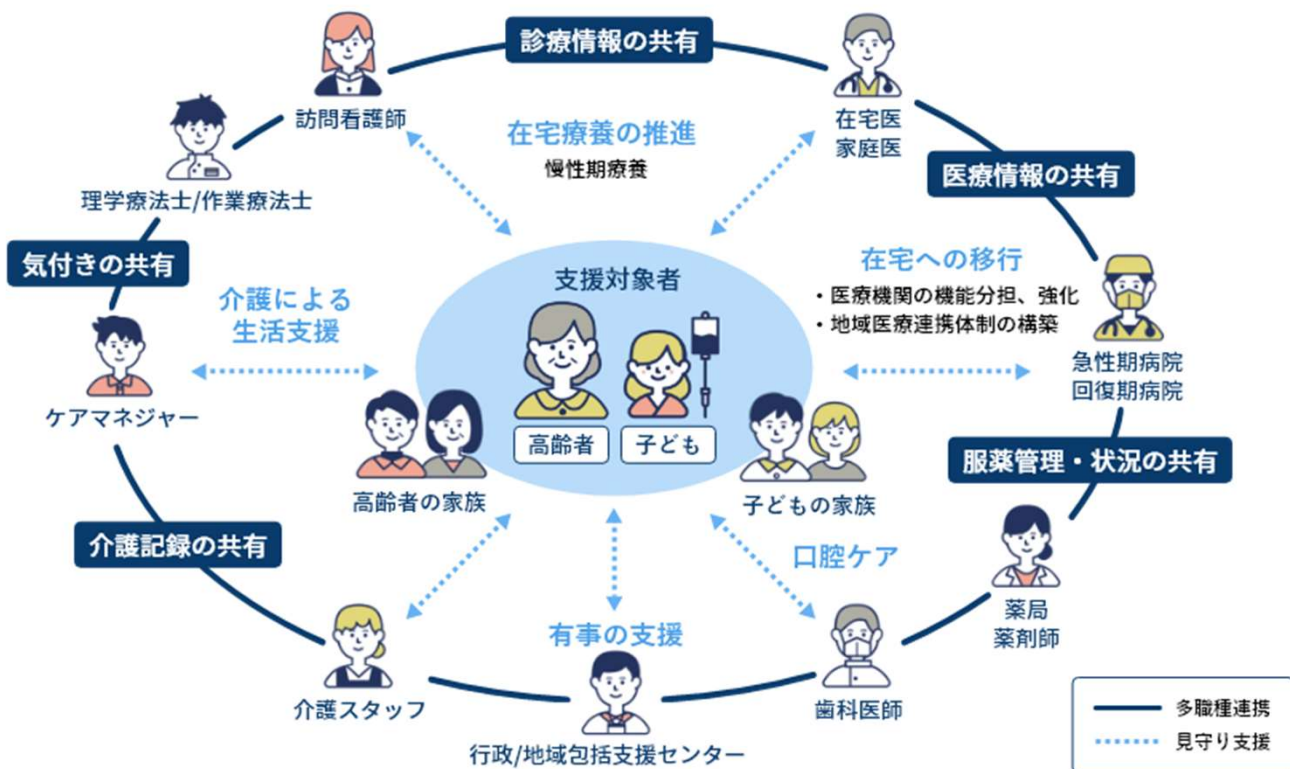
人がつながる、データをつかう。  
みんなを支えるあたらしい地域。

くらしを支えるプラットフォーム



利用実績 70地域以上。多くの医療現場、自治体、協議会にご利用いただいています。

## 多職種・異業種間の情報連携と共有



地域のWell-Being向上につながるプラットフォーム

自治体の各種事業のDXを推進

医療情報を扱う安全で堅牢な環境

医療的ケアを必要とする障害児者の支援の実例

その他 地域の利用実績やサービス紹介はこちらから



愛知県医療療育総合センター

これはネット



<https://renrakucho.iij.jp>  
電子@連絡帳サービス

